

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00132)

事務事業名称	老人ホームの入所	款	04	項	01	目	02	事業	001	整理番号	140
現担当課名	高齢者在宅支援課	係名	施設入所係					連絡先電話番号	3253	昨年度整理番号	143
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	05				
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	原則65歳以上の高齢者で、養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの入所措置が必要な区民、及び特別養護老人ホームの入所を希望する区民	根拠法令等	(1) 老人福祉法第6条、11条、21条 (2) 杉並区老人福祉法施行細則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	要援護高齢者の養護老人ホーム・特別養護老人ホームへの入所措置により、経済上、環境上の日常生活の安定や高齢者の虐待防止と権利を保護することができる。入所申込者の優先度評価を行うことで必要性の高い高齢者から特別養護老人ホームに入所することができる。	活動指標	養護老人ホーム措置入所者数 特別養護老人ホーム入所者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	要援護高齢者の実態を把握し、区入所判定委員会にて措置入所の要否を判定し、養護老人ホーム等へ入所措置する。特別養護老人ホーム入所申込者について協力施設の委託を受けて入所指針に基づき優先度第一次評価を実施し、その結果を施設と申込者に通知する。協力施設において第二次評価を行い、入所者を決定する。	指標説明	養護老人ホーム待機者に占める措置入所者の割合 当該年度措置者数 ÷ (前年度末待機者数 + 当該年度新規申請者数) 【行政】 特別養護老人ホーム入所希望者 (優先度A) に占める入所者の割合 当該年度入所者数 ÷ 前年度末優先度A入所希望者数 【社会】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	105	120	101	110	96	103	87.3	95.5
活動指標 (2)	2 人	658	500	680	650	750	700	115.4	
成果指標 (1)	3 %	78	80	80	80	93	80	116.3	
成果指標 (2)	4 %	154	60	163	100	179	100	179.0	
事業費	5 千円	233,810	236,496	220,311	222,546	212,631	220,560	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	43,717	40,881	43,087	42,838	38,925	41,018	
	上記以外の職員	7 千円	3,675	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	281,202	277,377	263,398	265,384	251,556	261,578		
財源	受益者負担分	9 千円	42,098	41,089	39,998	41,821	40,925	42,045	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	42,098	41,089	39,998	41,821	40,925	42,045	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	239,104	236,288	223,400	223,563	210,631	219,533	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 140

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	養護老人ホーム委託措置	1,184	人	211,063
	養護老人ホーム措置費支払事務委託			580
	特別養護老人ホーム入所調整事務	1,340	件	576
	その他 (措置事務費、移送費ほか)			412
取組成果	<p>養護老人ホームについては、新規13人の措置を行った結果、令和5年度末で措置入所者は96人となり、年間では18施設に延べ1,184人(月平均約98.7人)を委託措置しました。特別養護老人ホームへの委託措置による入所実績はありませんでしたが、養護老人ホームへの措置を通して、要援護高齢者の安定した生活の確保及び虐待防止と権利保護に寄与することができました。</p> <p>特別養護老人ホームの入所申込については、必要性の高い要介護高齢者が優先的に入所できるよう第一次評価を1,340件実施し、A～Cの優先度を各申込者及び希望施設へ通知しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>複合的な困難要素を抱え、在宅で生活できない高齢者は増加傾向にあります。虐待を理由とした分離や賃貸物件からの立ち退き等により、緊急で住まいの確保を要するといった案件も増えています。</p> <p>こうした中で、養護老人ホームへの入所相談は41件あり、前年度からの継続案件 (2件) を含め、当該年度の措置入所は13件 (前年度12件) でした。活動指標「養護老人ホーム措置入所者数」の減少及び目標未達成となったのは、入所者の死亡や特別養護老人ホームへの移動等を理由とした措置廃止が18人いたことが主な要因と考えています。</p> <p>結果的に措置とならなかった案件については、引き続き、他機関とのさらなる連携や情報提供を図っていきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>特別養護老人ホームの入所希望者は、平成25年度末の1,970人から令和5年度末には606人にまで減少し、平均待機期間は、平成29年度末の13か月から令和5年度末には6か月に短縮されています。活動指標「特別養護老人ホーム入所者数」は、計画650人に対して実績750人(対計画比115.4%)と目標を達成、成果指標「特別養護老人ホーム入所希望者(優先度A)に占める入所者の割合」は、前年度末優先度Aの入所希望者420人の約1.79倍となる750人が令和5年度中に入所し、目標を大きく超えています。</p> <p>これは、特別養護老人ホームの整備に伴う総定員数の増加に加え、区が行う毎月の優先度第一次評価と申込者への通知、施設への第一次評価を含めた入所希望者名簿等の情報提供に努めた結果と受け止めています。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>養護老人ホームについては、令和6年7月末時点で20件の入所相談に対して、2人の措置を行いました。同時期の措置者数は、令和5年度末の96人から4人減少し、92人となっています。入所相談件数は昨年度並みとなっており、本人や関係機関と調整を重ねる中で、より本人にとって適切な支援につながったことで措置者数が減少したと考えています。</p> <p>特別養護老人ホームについては、令和6年7月末時点で入所者230名 (対計画比32.9%) になっています。新規及び変更申請については、令和6年7月末時点で413件で、年度内の延べ件数は令和5年度の1,340件から7.5%程度減少し、1,240件程度になると見込まれます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>養護老人ホームについては、平成30年度の新規措置者38人をピークに、令和5年度は新規措置者13人と、ここ数年は減少傾向で概ね10人強となっていますが、近年は環境上や経済上の困難な課題を抱えた高齢者の入所相談が増加傾向にあります。</p> <p>引き続き、入所相談があった際は、迅速な措置事務を行い、措置に至らない場合でも、より適切な対応機関につなげられるよう、他機関と連携しながら進めていきます。</p> <p>特別養護老人ホームについては、申込みを希望される本人及びご家族に対して、適切なアドバイスをするよう努め、円滑な入所につながるよう支援してまいります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>養護老人ホームの措置対象者及び特別養護老人ホームの入所希望者に対し、円滑な入所につながるよう、引き続き、適切な支援を図ってまいります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00133)

事務事業名称	認知症高齢者グループホーム施設管理			款	04	項	01	目	02	事業	002	整理番号	141	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係	連絡先電話番号	1724			昨年度整理番号	144					
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成20年度													
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理					

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	認知症高齢者グループホーム「シャローム本天沼」「なごみ高井戸」及びその利用者	根拠法令等	(1) 介護保険法第8条第20項 (2) 消防法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設を適切に管理し、利用者が安心・安全に利用できるようにする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設を適切に管理し、利用者が安心・安全に利用できるよう、法令に基づく点検・修繕を実施する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								100.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	122	127	126	82	82	8,271	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	834	834	832	832	837	837	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	956	961	958	914	919	9,108		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	956	961	958	914	919	9,108	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 141

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	設備点検業務委託		1	所
	その他 ()			
取組成果	<p>区営住宅内にある認知症高齢者グループホーム「シャローム本天沼」について、運営事業者と連携を図りながら、建築・消防等設備点検や害虫駆除など適切な維持管理を実施しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>認知症高齢者グループホーム「シャローム本天沼」について、令和6年度も施設の運営事業者との賃貸借契約で定める費用負担区分に従い、建築・消防等設備点検を実施しました。</p> <p>また、認知症高齢者グループホーム「なごみ高井戸」は、併設する都営住宅の大規模改修工事に伴い、令和6年度に外壁等の改修工事を実施します。</p> <p>予算の執行状況については、計画通り進捗しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>認知症高齢者グループホーム「シャローム本天沼」は、平成19年11月の開設から約15年が経過しているため、施設・設備の状況把握に努め、随時、修繕等を実施し適切な維持管理を行っていきます。</p> <p>また、認知症高齢者グループホーム「なごみ高井戸」は、令和6年11月30日で運営事業者との賃貸借期間が満了となることから更新手続きを行い、引き続き認知症高齢者グループホームの運営を継続します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>認知症高齢者グループホーム「なごみ高井戸」の大規模改修工事が令和6年度 (単年度) で終了する予定のため、予算は減額となる見込みです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00134)

事務事業名称	介護強化型ケアハウス施設管理			款 04	項 01	目 02	事業 004	整理番号	142
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係	連絡先電話番号	1724		昨年度整理番号	145	
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成14年度								
令和 5年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象 介護強化型ケアハウス（2施設）及びその利用者	根拠法令等 (1) (2)	民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 老人福祉法第20条の6
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 施設を適切に管理し、利用者が安心・安全に利用できるようにする。	活動指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 施設運営事業者との賃貸借契約に基づく設備点検や修繕等を実施する。	成果指標 指標名（ 1 ） 指標説明 指標名（ 2 ） 指標説明	

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標（ 1 ）	1								92.8	
活動指標（ 2 ）	2									
成果指標（ 1 ）	3									
成果指標（ 2 ）	4									
事業費	5 千円	13,062	12,214	11,957	24,993	23,191	25,521	特記事項 <前年度事業費から増額の理由> ニチイケアハウス井草について、ナースコール設備等の更新（14,773千円）及びスチームコンベクション設備の交換（2,646千円）を実施しました。		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	2,920	1,669	3,327	1,664	7,952			9,208
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0			0
総事業費 (5+6+7)	8 千円	15,982	13,883	15,284	26,657	31,143	34,729			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0			0
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	15,982	13,883	15,284	26,657	31,143			34,729

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 142

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	ナースコール設備等更新工事		1	所
	給排水設備、空調設備修理	1	所	3,292
	厨房機器の購入	1	所	2,585
	その他修理	2	所	1,778
	その他 (光熱水費、点検委託費等)			763
取組成果	<p>ニチイケアハウス井草は、平成18年の開設後15年以上が経過しており、老朽化に伴う設備の更新 (ナースコール設備、厨房機器、昇降機設備や空調設備) を行いました。</p> <p>ベネッセケアハウス今川については、運営事業者との契約満了 (平成16年度から令和5年度までの20年間) に伴い、令和6年2月末をもって運営を休止し、施設改修等の上、令和8年度に運営再開を図ることとしました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>ケアハウス今川は、令和8年度の運営再開に向けて、大規模改修工事のための改修設計を進めるとともに、休止期間中の管理のため、仮囲いの設置、消防設備点検及び樹木剪定等の維持管理を行っています。</p> <p>ニチイケアハウス井草は、施設老朽化に伴い、空調設備、電気温水設備及び浴室床の陥没修理を実施しています。これらの予算執行状況については、概ね計画通り進捗しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>ニチイケアハウス井草は平成18年度の開設から15年以上経過しているため、引き続き、運営事業者と共に施設・設備の状況把握に努め、随時適切な施設管理を行っていきます。</p> <p>ケアハウス今川は、令和8年度の施設運営再開に向けて、令和6年度に改修工事のための設計を行い、令和7、8年度にかけて改修工事を実施する予定です。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度は、ケアハウス今川の大規模改修工事に係る工事費の計上に伴う予算増を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00135)

事務事業名称	介護老人保健施設用地管理			款	04	項	01	目	02	事業	005	整理番号	143	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係	連絡先電話番号	1724			昨年度整理番号	146					
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成14年度													
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	介護老人保健施設「シーダ・ウォーク」運営事業者	根拠法令等	(1) 介護保険法第8条第25項 (2) 借地借家法第22条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護老人保健施設の運営を支援し、区民が必要な時に必要なサービスが受けられるようにする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	独立行政法人都市再生機構が所有する敷地 (桃井三丁目) を、区が一般定期借地権設定契約により賃借し、介護老人保健施設シーダ・ウォークの運営を行う社会医療法人河北医療財団に転貸する。	指標説明	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1								100.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	24,031	24,385	24,384	25,078	25,078	26,035	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	834	834	832	1,330	1,349	837	
	上記以外の職員	7 千円	368	368	368	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	25,233	25,587	25,584	26,408	26,427	26,872		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	24,031	24,385	24,384	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	24,031	24,385	24,384	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,202	1,202	1,200	26,408	26,427	26,872	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 143

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	介護老人保健施設敷地転貸借	1	所	25,078
	その他 ()			
取組成果	平成16年度から当該用地で運営している介護老人保健施設「シーダ・ウォーク」の運営事業者に対し、契約書に基づく転貸借を継続しました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年度の昨年と同様に、介護老人保健施設「シーダ・ウォーク」の運営事業者に対して、契約書に基づく転貸借を継続しました。
事業の方向性・改善策	介護老人保健施設「シーダ・ウォーク」の土地は、区が独立行政法人都市再生機構から一般定期借地権設定契約 (契約期間：令和35年8月まで) に基づいて借り受け、運営事業者である社会医療法人河北医療財団に転貸しており、今後も当該事業を継続していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00136)

事務事業名称	高齢者保健福祉施策の推進				款	04	項	01	目	02	事業	006	整理番号	144
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当、管理係			連絡先電話番号	1724,1162		昨年度整理番号	147			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援									予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	○区内介護事業者及びその従事者 エクレシア南伊豆に入所した杉並区民 高齢者とその家族及びその関係者	根拠法令等 (1) 老人福祉法 (2) 介護保険法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○高齢者施設に介護ロボットの導入が進み、従事者の負担軽減等の働きやすい環境が整えられている。 ○エクレシア南伊豆町に入所した後も、杉並区民と同等のサービスを受けることができる。 ○高齢者の在宅生活継続のため、必要情報を提供する。	活動指標 指標名(1) 介護ロボット導入事業者数 指標説明 介護ロボットを導入した事業者数（累計・延べ数） 指標名(2) 介護ロボット導入経費補助金交付件数 指標説明 補助金を交付した事業所数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区内施設における介護ロボットの導入に係る経費を助成する。 ○インフルエンザ予防接種等の自己負担など、自治体により異なる助成制度について、杉並区民との格差が生じないように南伊豆町及び運営事業者との連携により、入居者や家族への支援を行う。 「高齢者のしおり」を3年ごとに発行する。（前回発行令和3年度、次回発行令和6年度予定）	成果指標 指標名(1) 介護ロボットを導入した施設数の割合 指標説明 区内特養及び認知症高齢者GH等に対する介護ロボットを導入した延べ施設数の割合【行政】 指標名(2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標(1)	1 所	18	19	20	22	23	26	104.5	88.9
活動指標(2)	2 所	5	3	2	3	3	3	100.0	
成果指標(1)	3 %	28	31	32	35	38	41	108.6	
成果指標(2)	4								
事業費	5 千円	21,928	3,843	2,549	4,163	3,702	27,189	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	27,532	35,875	33,106	36,183	37,502	33,484	<事業費が増額となった理由> 令和6年度は「高齢者のしおり」の発行年度となるためです（発行は3年に1度）。 <執行残の理由> エクレシア南伊豆の区民向けパンフレットの印刷費について、作成数を縮減したため、執行率が88.9%となっています。 <活動指標の変更> 事業の活動量を適切に表すため、活動指標(2)を「介護ロボット導入経費補助金交付件数」に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	3,308	3,308	3,678	3,678	3,807	3,807	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	52,768	43,026	39,333	44,024	45,011	64,480		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	52,768	43,026	39,333	44,024	45,011	64,480	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 144

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	介護ロボット導入経費補助金		3	所
	高齢者インフルエンザ予防接種及び高齢者肺炎球菌予防接種	1	所	319
	高齢者施策の普及啓発等			424
	その他 ()			
取組成果	<p>区内の介護事業所3所について、介護ロボットの導入経費助成を行い、介護現場における職員の負担軽減と作業効率の向上を図りました。</p> <p>南伊豆町との自治体間連携により整備した特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」に入所している区民がインフルエンザワクチンの予防接種等を受診する際の自己負担が杉並区民と同様になるよう、21人の方に対する費用負担を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>これまで区の補助金を活用して介護ロボットを導入したのは23事業者に留まり、その内9割以上が特別養護老人ホームであることなどから、区補助制度の必要な改善を図り、より有効な活用につなげていくことが必要です。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」入居者の予防接種に係る自己負担金について、杉並区民との格差を生じさせないようにするため、区が費用負担を行っています。令和6年度は、新たに新型コロナウイルスワクチンが定期接種化されたことに伴い、入居者の予防接種に係る費用の一部を負担するため、補正予算に計上して執行する予定です。介護ロボット導入経費助成については、令和6年5月から6月にかけて実施したアンケート結果を踏まえ、補助金の見直しを検討・実施する考えです。</p> <p>高齢者のしおり (令和6年) の発行に当たっては、掲載内容等を十分に精査し、区民ニーズに合った、より分かりやすい内容となるよう取り組みます。</p> <p>これらの予算については、計画通り執行見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」の入居者に対する、予防接種等に係る自己負担金については、杉並区民との格差を生じさせないため、今後も区が費用負担する予定です。</p> <p>介護ロボットの導入促進については、区内事業者から寄せられた意見等を参考に、特別養護老人ホームだけでなく認知症高齢者グループホーム等、幅広い施設で介護ロボットの導入が進むよう、対象機器等を見直し、施設の特徴に合わせた介護ロボットの導入を支援していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度は「高齢者のしおり」を発行しないため、その分の予算が減額となる見込みです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00140)

事務事業名称	介護老人福祉施設運営助成			款	04	項	01	目	02	事業	009	整理番号	145
現担当課名	高齢者施策課	係名	管理係	連絡先電話番号	1162			事業	1162		整理番号	148	
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成16年度												
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	特別養護老人ホーム上井草園の運営法人(1法人) 自治体間連携による特別養護老人ホームの運営法人(1法人)	根拠法令等	(1) 杉並区特別養護老人ホーム上井草園運営補助金交付要綱 (2) 杉並区自治体間連携特別養護老人ホーム運営補助金交付要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	運営助成によって、特別養護老人ホーム上井草園の運営基盤を強固なものとし、入所者へのサービス向上や介護需要に応えることとする。 自治体間連携による特別養護老人ホーム(エクレシア南伊豆)について、杉並区民の入所者が安心して生活できるようにする。	活動指標	補助金交付件数
事業内容(事務事業の内容、やり方、手段)	特別養護老人ホーム上井草園の運営法人については、「東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金」の対象外となるため、補助金相当額を助成する。 南伊豆町の自治体間連携による特別養護老人ホームの運営法人に対し、医療体制強化や入居者支援等に関する取組について運営費補助を行う。	指標名(1)	運営法人へ補助金を交付した件数
		指標名(2)	特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」による事業実施数
		指標説明	入所相談会、施設見学会、展示会、催し物等、区民及び入所者を対象とした事業実施数
		成果指標	東京都補助金と杉並区補助金の比較
		指標名(1)	上井草園運営補助金÷東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金×100【行政】
		指標名(2)	自治体間連携による特別養護老人ホームの区民入居者数
		指標説明	【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標(1)	1 件	2	2	2	2	2	2	100.0	100.0
活動指標(2)	2 件	0	0	0	18	16	17	88.9	
成果指標(1)	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0	
成果指標(2)	4 人	38	50	35	50	30	50	60.0	
事業費	5 千円	6,200	6,200	6,200	5,200	5,200	4,700	特記事項	
人件費	常勤職員分(再任用含)	6 千円	834	834	832	832	5,023	5,023	<活動指標の設定> 当該事業の活動量を適切に表すため、活動指標(2)を「特別養護老人ホームエクレシア南伊豆による事業実施数」としました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費(5+6+7)	8 千円	7,034	7,034	7,032	6,032	10,223	9,723		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計(9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引:一般財源(8-12)	13 千円	7,034	7,034	7,032	6,032	10,223	9,723	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 145

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	自治体間連携特別養護老人ホーム運営補助金交付	1	所	5,000
	特別養護老人ホーム上井草園運営補助金交付	1	所	200
	その他 ()			
取組成果	<p>特別養護老人ホーム「上井草園」の運営に対する補助金のほか、自治体間連携により静岡県南伊豆町に開設した特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」について、区役所での施設説明・入所相談会（6回）、ケアマネージャーを対象とした施設見学会の開催（7月）、区内の保育園児が作成した作品の施設での展示（8月）、日本フィルハーモニー交響楽団による演奏会の開催（3月）などの運営事業者が実施する取組に対する助成を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>エクレシア南伊豆における杉並区民の利用については、定員90名に対して50名を目標としていますが、令和5年度の入所者は7人、退所者は11人で、年度末時点の入所者は30人となっています。特別養護老人ホームの入所希望者の中には、区外施設を希望する方が一定数いることから、引き続き区民への周知を図るとともに、ケアマネージャーへの情報提供に努めていきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>特別養護老人ホーム「上井草園」に対しては、運営法人の安定した運営に資するため、例年通り補助金の交付を予定しています。</p> <p>特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」は、令和6年8月現在、杉並区民の入居者が28名となっており、引き続き、区民向けの相談会やケアマネージャーを対象とした施設見学会等への協力及び事業費助成を行います。これらの予算執行状況は、例年並みとなる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>特別養護老人ホーム「上井草園」については、安定的な施設の運営に資するため、今後も引き続き支援を行っていきます。</p> <p>また、特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」についても、施設の周知・広報活動に加えて入居者とその家族に対する取組等への支援を行っていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>特別養護老人ホーム「上井草園」については、民設民営の施設と同水準のサービス提供体制の維持、向上を図るため、今後も支援を行っていきます。</p> <p>また、特別養護老人ホーム「エクレシア南伊豆」についても、引き続き運営事業者とも綿密に連携し、事業者が実施する周知活動、広報活動、入居者とその家族に対する支援・サービス等への助成を行っていきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00141)

事務事業名称	まちの湯ふれあい入浴			款	04	項	01	目	02	事業	010	整理番号	146
現担当課名	高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	149		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援								予算事業区分	既定事業			
事業開始	昭和49年度												
令和 5年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は60歳以上の区民	根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条第1項及び第13条第1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱 杉並区まちの湯健康事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	ふれあい入浴を利用することにより、公衆浴場が、高齢者同士の親睦を深め、社会参加や交流を広げることができる憩いの場となるようにする。 まちの湯健康事業に高齢者が参加することを通じて、リフレッシュはもとより、健康増進が図られ、介護予防につながるようにする。	活動指標 指標名 (1) ふれあい入浴年間実施回数 指標説明 指標名 (2) まちの湯健康事業年間実施回数 指標説明
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ふれあい入浴：週1回、浴場の営業時間に、低価格 (100円) で入浴を提供する。 まちの湯健康事業：月1回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。本事業は、長寿応援ポイント対象事業である。	成果指標 指標名 (1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 指標説明 【行政】 指標名 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数 指標説明 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	861	3,536	3,070	4,680	4,352	4,524	93.0	97.6
活動指標 (2)	2 回	152	156	142	144	140	132	97.2	
成果指標 (1)	3 人	36,214	53,040	55,072	57,000	66,951	69,000	117.5	
成果指標 (2)	4 人	976	1,272	901	1,200	871	1,104	72.6	
事業費	5 千円	28,253	37,728	32,299	41,608	40,604	41,670	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,155	1,914	3,409	4,159	5,023	3,348	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	1,142		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	30,408	39,642	35,708	45,767	45,627	46,160		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	1,785	1,964	1,789	1,825	1,685	1,764	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	1,785	1,964	1,789	1,825	1,685	1,764	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	28,623	37,678	33,919	43,942	43,942	44,396	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 146

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	ふれあい入浴事業実施委託			37,162
	まちの湯健康事業実施委託			3,257
	ふれあい入浴カード、事業周知用ポスター印刷			156
	その他 (消耗品購入ほか)			29
取組成果	<p>ふれあい入浴は、試行的に平日に加えて土日も含めた全ての営業日時で利用できるよう、令和5年度から実施日を拡大しました。その結果、令和4年度に比べ利用者が増加し、延べ66,951人が利用しました。</p> <p>まちの湯健康事業は、高齢者の健康増進につながる事業として、ほぼ計画通りの回数が実施できました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>ふれあい入浴は、利便性を高めるために令和4年度から実施時間を各浴場の平日の営業時間内に拡大したところですが、令和5年度は試行的に曜日に関係なくすべての営業日時で利用できるよう、利便性を高めた結果、新型コロナウイルス感染症流行前の実績まで回復しました。</p> <p>まちの湯健康事業は、令和2年度から各浴場に見合った定員数を決めて実施していますが、定員数に対し約7割の参加者数にとどまり、目標値を下回っていることから、引き続き周知に努めていきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>ふれあい入浴は、令和5年度に、試行的に曜日に関係なくすべての営業日時で利用できるよう、利便性を高めた結果、目標以上の成果が得られたため、令和6年度から同様の取組を本格実施することとしました。令和6年度7月末までの延べ利用者数は、前年度同時期より3114人増加しています。なお、東京都公衆浴場入浴料金統制額の改定 (30円値上げ) による委託経費の増加及び利用者の増加により、令和6年度予算に不足が生じる見通しであり、今後補正予算を計上する予定です。</p> <p>まちの湯健康事業は、令和6年度から実施浴場が1浴場減少したため、前年同時期と比較して延べ参加者数は減少傾向にあります。より多くの区民に参加していただけるよう、ポスターのデザイン変更など周知に努めていきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>まちの湯健康事業及びふれあい入浴事業については、高齢者の健康維持と地域でのふれあい増進を目的として、今後も継続して実施していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>ふれあい入浴は令和4・5年度に行った事業内容の改善等により、今後も利用者の増加が予想されるため、事業委託費の増加が見込んでいます。</p> <p>まちの湯健康事業については、引き続き現状の予算規模を前提に実施していく考えです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00142)

事務事業名称	風呂っと杉並	款	04	項	01	目	02	事業	011	整理番号	147	
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	150	
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成13年度											
令和 5年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	60歳以上の区民	根拠法令等	(1) (2)	杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	60歳以上の高齢者の自主グループに対して、公衆浴場をいきがい・健康づくりなどの活動の場として提供することで、高齢者の活動・交流を推進していく。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	風呂っと杉並事業を実施する浴場数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内の公衆浴場を高齢者の健康活動の場として60歳以上4名以上のグループに有料 (利用料は浴場によって異なる) で提供する風呂っと杉並事業 (杉並浴場組合自主事業) に要する経費について、運営費を助成する。	成果指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	年間実施回数 【行政】 年間延べ利用人数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	4	9	5	9	5	9	55.6	78.2
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 回	88	144	106	120	103	144	85.8	
成果指標 (2)	4 人	551	864	678	720	752	864	104.4	
事業費	5 千円	563	997	678	843	659	997	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,326	1,163	1,163	832	837	837	浴場を利用している自主グループが一時的に活動を縮小させたため、年間の実施回数が減少し、執行残が生じました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	1,889	2,160	1,841	1,675	1,496	1,834		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	696	499	498	422	421	499	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	696	499	498	422	421	499	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	1,193	1,661	1,343	1,253	1,075	1,335		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 147

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	風呂っと杉並運営費補助	5	所	659
	その他 ()			
取組成果	<p>浴場を活動の場とする自主グループ6団体 (前年度比1団体増) が、健康体操などの活動を行う高齢者の健康増進事業を行い、103回延べ752人の利用 (前年度106回延べ678人) がありました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和4年度に比べて実施回数は微減となり、目標値を下回りましたが、事業1回当たりの参加人数が増加したため、年間利用人数は増加し、目標値を達成しています。また、新たに1団体が9月から事業の利用を開始しました。</p> <p>多くの元気な高齢者が地域の中でいきがいをを持って活動するためには、地域に様々な活動場所があることが望ましく、杉並浴場組合の行う風呂っと杉並事業も、高齢者のいきがいづくりに貢献しています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>しかし、令和2年度以降は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業規模が減少しており、風呂っと杉並事業補助金の制度が十分に利用されていないなどの課題があるため、浴場組合として、事業の周知と実施浴場の拡大が必要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>ケア24の介護予防教室等を終了後に、継続してフレイル予防・介護予防に取り組む自主グループの活動場所としても浴場が活用されており、高齢者の健康活動の場として寄与しています。令和6年度は、前年9月から新たに1団体が利用を開始したこともあり、実施回数及び利用人数が増加しています。</p> <p>○ 予算については、概ね計画通り執行見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>当該事業の補助金交付要綱が令和6年度末で終期を迎えますが、新型コロナウイルス感染症などの影響で減少した実施浴場数並びに利用団体数について、杉並浴場組合では今後ケア24等に働きかけて、利用団体を増やしていく意向があり、実施浴場についても拡充していく事としています。</p> <p>高齢者人口は2040年頃まで増加し続けることもあり、高齢者が自主的に活動する場の確保は今後も継続して行っていく必要があると見込んでおり、杉並浴場組合と連携して、令和7年度以降も事業への補助を継続する方向で検討します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>現在、実施浴場数が5か所にとどまっていますが、令和7年度以降は実施を予定する浴場が約10か所となる見込みです。今後は、ケア24とも連携することにより、新規利用団体の増加を目指し、より多くの浴場を活動場所として提供する予定です。</p> <p>これまで以上に浴場と連携して実施浴場数や利用団体を増やすとともに、区民への周知を進めて利用拡大を図ります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00143)

事務事業名称	いきいきクラブの支援				款	04	項	01	目	02	事業	012	整理番号	148
現担当課名	高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係			連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	151			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援								予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和33年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	04						
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会	根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条、第13条第2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	クラブ会員一人ひとりが社会貢献活動やいきがい活動を積極的に行い、高齢期をいきいき元気に生活できるようにする。 いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会活動の活性化を支援する。	活動指標 指標名 (1) いきいきクラブ加入者数 指標説明 指標名 (2) いきいきクラブ活動回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対し、各クラブの会員数に応じて助成する。 いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して助成する。	指標説明 社会奉仕活動、健康増進活動、生きがいを高める活動、その他の社会活動の合計 成果指標 指標名 (1) いきいきクラブ加入率 指標説明 指標名 (2) いきいきクラブ加入者数 ÷ 60歳以上の人口 (当該年度4月1日現在) 【行政】 1か月の社会奉仕活動回数 (1クラブ当たり平均) 指標説明 社会奉仕活動回数 ÷ 全クラブ数 ÷ 12月 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	4,440	4,500	4,135	4,200	3,959	4,000	94.3	92.4
活動指標 (2)	2	18,427	19,000	18,006	18,500	17,673	18,000	95.5	
成果指標 (1)	3 %	3.0	3.0	2.8	2.8	2.6	2.6	92.9	
成果指標 (2)	4 回	6.6	12	5.6	12	5.2	10	43.3	
事業費	5 千円	19,479	21,816	19,067	20,566	18,997	20,033	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	10,012	10,012	9,982	10,146	13,582	12,557	事業実施状況をより明確にするため、活動指標に「いきいきクラブ活動回数」を追加しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	29,491	31,828	29,049	30,712	32,579	32,590		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	2,306	2,475	2,176	2,376	2,152	2,307	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,306	2,475	2,176	2,376	2,152	2,307	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	27,185	29,353	26,873	28,336	30,427	30,283	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 148

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	いきいきクラブ助成 (いきいきクラブ連合会 1・各いきいきクラブ 58)	59	団体	18,478
	福祉大会・都市交流等事業分担金	1	団体	500
	その他 (連絡用郵券の購入ほか)			19
取組成果	<p>各いきいきクラブによる社会奉仕活動や健康増進活動などは17,678回の活動実績となりました。いきいきクラブ連合会及び地区連合会は、コロナ禍が平常時に戻りつつある中で、年間を通して福祉大会やスポーツ大会が実施されたほか、東吾妻町との交流事業についても4年ぶりに再開されました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>いきいきクラブでは、比較的若い世代の高齢者の参加が進まず、クラブ数及び加入者数が年々減少していることが課題となっています。</p> <p>加入者数や加入率の目標未達の理由としては、会員の高齢化による退会、令和4年度から5年度にかけて2クラブの解散が発生していることなどが影響しています。また、いきいきクラブの会員平均年齢は81歳となっており、「役員の成り手がいない」「会計処理や各種の書類作成が負担」などの課題が生じています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>いきいきクラブ連合会及び各地区連合会では、区との協働により、計画どおりの行事運営が実施される予定で、各会員の健康づくり・いきがづくり・仲間づくりに着実につながっています。</p> <p>令和6年度予算は、会員数の減少に伴い、若干の執行残が生じる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により活動が停滞し、解散するクラブが増えていたものの、令和5年度から6年度にかけては、クラブ数は維持されています。また、令和6年度は10クラブで会長の変更があり、こうしたクラブが滞りなく活動を進められるよう、引き続き、会計処理や区への提出書類作成時のきめ細やかな相談対応と助言等に努め、役員等の負担軽減を図ります。合わせて、いきいきクラブの会員拡大に向けて、広報や区役所ロビーやセッション杉並で行う作品展等を通して、いきいきクラブの魅力を区民に発信していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>現時点では現状維持を見込んでいますが、現在、いきいきクラブ連合会と会員拡大等に向けた支援のあり方を意見交換しており、その結果を踏まえて補助の拡充を図る可能性があります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00144)

事務事業名称	シルバー人材センター支援	款	04	項	01	目	02	事業	013	整理番号	149
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	152
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和53年度										
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	公益社団法人杉並区シルバー人材センター	根拠法令等	(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並区シルバー人材センターが安定した事業運営を図り、高齢者が就業等を通して、地域の中で生涯現役で活躍できるように支援する。	活動指標	就業実人員数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付を行う。	指標名 (1)	就業実人員数
		指標説明	指標の計画値は、シルバー人材センターの目標値を使用している。 年度末現在会員数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付を行う。	指標名 (2)	年間契約件数
		指標説明	請負・委託と派遣の合計契約数 (1 契約で複数現場・複数人の就労もあり、就労件数とは一致しない) 【行政】 会員の就業率
		指標説明	就業実人員数 ÷ 年度末現在会員数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	1,754	1,900	1,805	2,000	1,835	2,100	91.8	100.0	
活動指標 (2)	2 人	2,687	2,800	2,701	2,800	2,648	2,800	94.6		
成果指標 (1)	3 件	5,809	5,771	5,726	5,932	5,788	6,207	97.6		
成果指標 (2)	4 %	65.3	67.8	66.8	71.4	69.3	75.0	97.1		
事業費	5 千円	128,979	126,676	126,675	122,650	122,650	120,932	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,006	4,589	4,575	4,991	5,860	4,939		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	133,985	131,265	131,250	127,641	128,510	125,871			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495	12,495		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	121,490	118,770	118,755	115,146	116,015	113,376		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 149

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	シルバー人材センター運営助成			122,600
	その他 (負担金の支出)			50
取組成果	<p>シルバー人材センターでは、受注の多い清掃業務で会員のマッチングを専門に行うコーディネーターを新規配置するとともに、就業開拓員による営業を強化した結果、請負・委任事業は契約件数5,666件 (21件増)、事業収入881,294千円 (67,143千円増) となり、派遣事業は実契約件数122件 (41件増)、事業収入47,685千円 (13,891千円増) と、昨年を上回る結果となりました。</p> <p>そのほか、シルバー人材センターと所管課で定期的な打ち合わせを行い、現状の分析及び対応方針などを意見交換し、計画的な経費の削減に取り組みました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和5年度及び6年度当初予算では、補助金額を一部減額しましたが、近隣自治体と比較し、会員数に対する補助金の比率が高いことから、更なる補助金の適正化が課題です。また、派遣事業については件数・収益共に増加しているものの、請負・委託事業については令和6年度には現在請け負っているJR中央線自転車駐車場4か所の受注が終了することなどの動きがあることから、シルバー人材センターとして引き続き新規の就業開拓等に取り組む必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>シルバー人材センターにおける令和6年7月末時点の会員の就業状況については、実就業人員1,612人、延就業人員67,394人となっており、前年同時期に比べると就業実人員はほぼ同数となっているものの、延就業人員は243人減となっています。これは、区から受注している自転車駐輪場管理業務のうち、JR中央線自転車駐車場業務委託4か所の契約が減少したことや、その他請負委任業務の契約数減少などによるものです。</p> <p>予算の執行については、計画どおりの執行見込みとなっています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>人生100年時代と言われ高齢者人口が増加していく中、就業や社会貢献により生涯現役で充実感を得たいという高齢者にとって、シルバー人材センターの果たす役割は大きいことから、今後とも、センターと定期的な意見交換を行い、センターが担うことができる業務の開拓などを連携しながら検討していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>シルバー人材センターは、令和6年度においても引き続き経営改善、改革に取り組んでおり、その努力の成果として令和7年度予算でも経費削減を予定しています。しかし、令和6年度最低賃金の引上げ幅は過去最大と言われており、補助金額の大部分を占める人件費の自然上昇分も大きいと考えられます。シルバー人材センターの給与体系は区に準じており、来年度のベースアップなどによる人件費の上り幅が予測不能であることなどから、現時点では現状維持とします。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00145)

事務事業名称	高齢者いきがい活動支援	款	04	項	01	目	02	事業	014	整理番号	150
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	153
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和58年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	04			
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	概ね60歳以上の区民 ただし、高齢者の就業・社会参加支援は、概ね55歳以上の在住・在勤者	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館設置条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者が生きがいを高める活動・学習・就業の場を利用して、地域の中で生涯現役で健康に暮らしていけるようにする。	活動指標	指標名 (1) 杉の樹大学講座開催数 指標説明 指標名 (2) 高齢者の就業・起業個別相談会実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉の樹大学を事業者に委託し各種講座の企画運営を実施する。 高齢者の就業・社会参加支援をNPO法人に委託し実施する。	成果指標	指標名 (1) 杉の樹大学受講者数 指標説明 杉の樹大学本科の受講者数【行政】 指標名 (2) 高齢者の就職成立件数 指標説明 【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	24	56	50	50	50	44	100.0	98.5
活動指標 (2)	2 回	24	24	24	24	24	24	100.0	
成果指標 (1)	3 人	126	640	588	760	393	640	51.7	
成果指標 (2)	4 人	8	20	7	20	6	10	30.0	
事業費	5 千円	6,545	6,435	6,183	6,479	6,382	9,818	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,660	5,660	5,653	7,152	5,274	753	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	3,160	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	12,205	12,095	11,836	13,631	11,656	13,731		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	3,853	3,854	4,994	5,212	5,192	5,277	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	3,853	3,854	4,994	5,212	5,192	5,277	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	8,352	8,241	6,842	8,419	6,464	8,454	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 150

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	杉の樹大学運営委託	1	所	3,764
	高齢者の就業・社会参加支援委託	1	所	2,618
	その他 ()			
取組成果	<p>杉の樹大学では、高齢者のデジタルデバインドを解消するため、スマートフォンに関する体験講座12回、基礎講座6回、活用講座6回、指導者養成講座2回及び個人相談会24回を実施し、延べ393人の参加がありました。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業では、高齢者の就労、起業、地域活動支援に関する情報提供並びに個別相談24回、就業体験セミナー1回、合同就職面接会1回を実施し、延べ109人の参加があり、このうち6人が就業しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>高齢者のデジタルデバインドを解消するためのスマホ講座を令和4年度から開催していますが、令和5年度は体験講座の応募者が大きく減少しました。これは、大手携帯向け通信回線事業者1社の3G携帯電話向けサービス終了(令和4年3月末)によりスマートフォンに移行した人が一定程度スマートフォンを使えるようになったことが影響したものと捉えています。今後も高齢者のデジタルデバインド解消に向けて、ニーズの変化に応じたカリキュラムの改善・見直しに取り組んでいく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>また、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、事業者に対して65歳までの雇用確保が義務付けられ(平成25年4月施行)、令和3年4月からは70歳までの就業確保に向けた支援措置が努力義務化されました。こうした社会変化に伴い、東京都ではアクティブシニア就業支援センターを都内10か所に設置しているほか、区でも就労支援センターでシニア向けセミナーを実施しており、相当数の高齢者が同センターを利用していること等から、高齢者の就業・社会参加支援委託事業の取扱いを検討する必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込含む)	<p>杉の樹大学事業は、令和6年7月末までに初心者講座、アプリ講座、SNS講座を各2回、指導者育成講座を1回、個人相談会を8回実施し、延べ192人が参加しました。また、高齢者の就業・社会参加支援委託事業については、令和6年7月末までに、個別相談会8回を実施し、延べ20人が参加しました。予算については計画通りの執行見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>杉の樹大学については、高齢者のデジタルデバインド解消を目的に、ニーズの変化に応じたカリキュラムの改善・見直しを行いながら、当面は高齢者のICT利用を支援する講座を中心に実施します。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援事業については、事業を取り巻く状況の変化等を踏まえ、令和6年度をもって廃止する方向で検討します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・実施主体の見直し・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>杉の樹大学事業については、令和6年度中に整備するWi-Fi設備の維持費が経常化しますが、概ね現状維持となります。</p> <p>高齢者の就業・社会参加支援については、令和6年度をもって事業の廃止を検討しているため、当該事業の委託費削減を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00146)

事務事業名称	介護保険事業者の指定及び指導			款	04	項	01	目	02	事業	015	整理番号	151
現担当課名	介護保険課		係名	指導係		連絡先電話番号	1314		昨年度整理番号	154			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度												
令和 5年度担当課名	介護保険課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内の介護保険事業者	根拠法令等	(1) (2)	介護保険法第23条、第78条の2、第115条の12
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域密着型サービスを確保することにより、高齢者が住みなれた地域で継続して生活できるようにする。 区内の介護保険事業者に対し、助言・指導及び是正措置を講ずることにより、利用者が質の高いサービスを受けられるようにする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	運営指導事業所数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	介護保険事業者のうち、地域密着型サービス等事業者の指定・更新・変更等に関する業務を行う。 介護サービス、介護報酬請求等に関し、法令等の適合状況を確認し、集団指導・運営指導の形態で、適切な助言及び指導を行う。	指標説明	成果指標	運営指導により改善を行った事業所数
			指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	31	31	26	60	60	60	100.0	89.3
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 件	31	31	25	60	60	60	100.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	1,740	3,328	1,801	3,311	2,958	3,421	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	37,043	33,372	33,272	38,096	38,088	33,484	令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実地指導の実施件数が減少しました。 令和5年度はコロナ禍以前と同程度の件数を計画通り実施しています。
	上記以外の職員	7 千円	7,350	7,350	3,678	7,356	7,614	7,614	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	46,133	44,050	38,751	48,763	48,660	44,519		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	46,133	44,050	38,751	48,763	48,660	44,519	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 151

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	運営指導に係る照会等事務委託	27	件	2,079
	運営指導に係る事務費等	60	件	101
	その他 (郵送料、事務費)			778
取組成果	<p>運営指導60件のうち27件について、委託先である指定市町村事務受託法人2法人の職員 (介護支援専門員等) と区職員で実施しました (「介護サービス事業者指導に係る照会等事務委託」) 。残り33件は区職員のみで実施しました。</p> <p>年に1回実施する集団指導において、運営指導で指摘の多い事項を一齐に指導することで効率的に普及啓発を図ることができる事項、介護報酬改定の概要等を周知するとともに、介護サービス事業所が適正なサービス提供を行えるように適切な助言を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>区が指定を行う事業所は、地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所及び介護予防支援事業所です。これらの区指定事業所は、令和5年4月現在で合計313事業所となっています。</p> <p>区は、介護保険サービスの質の確保、保険給付の適化を図ることを目的として、これらの区指定事業所を含む区内の事業所に対して運営指導と集団指導を行っています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和5年度の運営指導は、60事業所に対して実施し目標値を達成しました。そのうち、都指定事業所に対する指導件数は8件、区指定事業所に対する指導件数は52件でした。</p> <p>区指定事業所に対する運営指導は、区の指導要綱に基づき、指定の有効期間である6年間に1回以上の割合 (16.6%) で行うことを目標としています。令和5年度は、係人員体制の充実・事務効率化を並行して進めたことにより、目標を達成することができました。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>常勤職員4名、会計年度任用職員 (介護支援専門員) 2名とする人員体制を継続し、専門職を中心とした3名2班体制として指導を実施します。指導前の電子申請システムでの資料提出や指導当日に確認した内容について情報通信機器を用いて現場入力するなど、引き続き I C T を最大限活用して、職員及び事業所の事務負担軽減に取り組んでいきます。</p> <p>令和6年8月末現在の運営指導件数は24件で、そのうち区指定事業所に対する指導件数は22件です。</p> <p>令和6年8月末現在の予算執行状況は、運営指導に係る照会等事務委託8件で執行率26%となっています。指導計画上では、年度末までに執行率100%となる見込です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>運営指導は、事業者が適正な事業運営とサービス提供ができるよう育成・支援を行っています。区指定事業所に対する令和5年度の実施率は16.6%で目標を達成したため、継続して目標達成できるよう取り組んでいます。また、区が所管する社会福祉法人が運営する介護老人福祉施設や都指定事業所への運営指導も行うことを踏まえ、引き続き、O J T や研修を通じて指導・監査の技術の向上を図っていきます。</p> <p>集団指導は、運営指導で疑義が多い事項や、制度・基準等の改正など、理解促進が必要な事項等を周知します。厚生労働省や東京都が発出している確認項目一覧・自己点検票等を用いて、事業所自らが確認を行うことで適正な運営に努められるよう、啓発を行います。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>予算は現状維持とし、引き続きサービスの質の確保に向けた適切な指導検査を行うとともに、情報通信機器を活用した業務のデジタル化を進めていきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00147)

事務事業名称	介護保険事業者支援			款 04	項 01	目 02	事業 016	整理番号	152	
現担当課名	介護保険課	係名	事業者係	連絡先電話番号	1337		昨年度整理番号	155		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成21年度						主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和 5年度担当課名	介護保険課					事業評価区分	一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民及び区内介護保険サービス事業者	根拠法令等	(1) 介護保険法第5条 (2) 杉並区介護保険サービス事業所非常勤職員健康診断等助成金交付要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	介護サービスを担う人材の確保と育成（定着）を図る。 ○ 介護従事者の介護技術や介護に対する知識等を向上させる。	活動指標	健康診断等の助成金交付事業所数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	労働基準法で実施の義務付けのない非常勤職員への健康診断等を実施した事業者に対し、実績金額（上限あり）を助成する。 ハローワーク及び東京都福祉人材センターと共催で就職相談・面接会を行う。 介護職員等への研修を行う。 初任者研修等修了者に費用の一部を助成する。 ○ 事業所に対し業務継続計画の作成支援を行う。 ○ 事業所に対し物価高騰対策給付金の支給を行う。	指標名（ 1 ）	研修開催数
		指標説明	
		成果指標	介護職員定着率
		指標名（ 1 ）	助成対象職員中年度末在勤者数 ÷ 助成対象職員数【行政】
		指標説明	
		指標名（ 2 ）	研修参加人数
		指標説明	【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	27	20	21	20	22	20	110.0	96.6
活動指標 (2)	2 回	11	19	13	18	15	19	83.3	
成果指標 (1)	3 %	92.5	100	90.1	100	97.1	100	97.1	
成果指標 (2)	4 人	967	1,000	889	1,000	1,049	1,000	104.9	
事業費	5 千円	9,050	439,961	385,588	356,609	344,520	15,666	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	58,401	63,362	63,821	66,544	63,039	75,339	国の電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用して介護事業者の支援として実施した物価高騰対策給付金について、令和6年度は同交付金の詳細が示されておらず区の予算に反映していないため、令和6年度の計画上の事業費が大きく減額となっています。引き続き国の動向を注視し、必要に応じて対応していきます。
	上記以外の職員	7 千円	7,350	3,675	3,678	3,678	6,662	3,807	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	74,801	506,998	453,087	426,831	414,221	94,812		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	5,779	431,331	376,138	63,388	331,054	7,712	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,779	431,331	376,138	63,388	331,054	7,712	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	69,022	75,667	76,949	363,443	83,167	87,100	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 152

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	介護職員初任者研修等受講料助成		100	人
	区主催研修委託	15	回	1,980
	非常勤職員健康診断助成	22	社	679
	介護サービス事業者物価高騰対策給付金支給	1,100	件	332,873
	その他 (B C P (業務継続計画) 作成支援等)			2,030
取組成果	<p>介護職員への研修受講料の助成は、介護職員の認知症に関する研修受講の義務化の影響等から希望も多く、令和5年度は100名の方に助成しました。事業者向け研修は、開催時期や方法を事業者の意向も踏まえて検討した結果、研修回数を15回とし、参加者が前年度に比べて約200名増えました。また、物価高騰等の対策として延べ1,100件 (上半期548件、下半期552件) に給付金を支給し、経済的な負担の軽減を図りました。このほか、令和4年度に引き続き、令和6年3月末までに策定義務のある業務継続計画の作成を支援した20事業所全てで作成が完了しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>介護事業者向け研修について、令和5年度は参加機会の確保のため、前年度よりも3回増となる合計15回の研修を実施しました。その中で、参加者からは区内の介護職員が共に学び合い、連携が促進できるように対面研修を望む声が寄せられたため、集合形式の研修を1回追加し、計2回実施しました。このように事業者や参加者の意向を踏まえて研修を実施した結果、令和5年度は参加者が前年度に比べて約200名増加しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>介護職員定着率は、非常勤職員の健康診断等の助成対象者の年度末における在職者数の割合から算出しています。助成対象者102人に対して年度末在籍者数は99人 (97.1%) となり、定着率は過去5年以上90%を超えています。上記研修への参加や介護職員への研修受講料助成など本事務事業の他の取組も活用していただき、より一層職場環境の整備ができるよう、今後も区として後押ししていく必要があります。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度は、高齢者虐待防止研修や管理者向け研修、介護支援専門や訪問介護の方向への研修など様々な介護従事者向けに集合形式、オンラインを活用して合計20回の研修を実施します。非常勤職員健康診断助成については、事業者への支援と人材確保や定着に向け実施します。初任者研修等受講料助成については、申請件数は初任者研修8件、実務者研修29件の申請があります。これらにより、年度末に向けて概ね予定通りの予算執行となる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>介護従事者向け研修については、引き続き介護保険制度の変更や事業者のニーズを捉えて研修テーマを決定し、計画的に開催していきます。研修等受講料や非常勤健康診断等の助成は、介護従事者の人材確保や定着と事業者の負担軽減のために必要な事業として継続するほか、令和7年度に新規・拡充等を図るべき取組についても検討していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>研修等受講料や非常勤健康診断等の助成は、介護従事者の人材確保や定着と事業者の負担軽減のために必要な事業として継続していきます。令和7年度は、更なる介護人材の確保に向けて、新規・拡充等を図るべき取組の検討をしていく考えであるため、現時点では予算の拡充を見込むこととします。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00153)

事務事業名称	見守りサービス			款	04	項	01	目	02	事業	022	整理番号	154
現担当課名	高齢者在宅支援課		係名	高齢者見守り連携係			連絡先電話番号	3243		昨年度整理番号	157		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援								予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課								事業評価区分	一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	緊急通報システム：高齢者のみの世帯で慢性疾患があるなど常時注意を要する方 火災安全器具給付：高齢者のみの世帯で認知機能が低下している方 安心コール：高齢者のみの世帯	根拠法令等 (1) (2)	杉並区高齢者緊急通報システム事業実施要綱 杉並区高齢者安心コール事業運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	緊急通報システム：緊急時に救急ボタン・センサー等の通報により緊急車両が要請され、救命・消防活動を行うことで、高齢者が安全・安心な生活を送ることができる 火災安全器具給付：火災の予防及び緊急事態時の安全を確保する。 安心コール：日常生活や健康面・精神面に関する不安を解消するとともに安否確認を行う。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	利用世帯数 緊急通報システム、火災安全器具給付、安心コールそれぞれの利用世帯数の合計
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	緊急通報システム：緊急時、ペンダント型の救急ボタンを押すか安心センサー・火災センサーが作動した場合、民間委託事業者に通報され、緊急車両の要請、救命・消防活動を行う。 火災安全器具給付：火災防止のために電磁調理器や自動消火装置、ガス警報器の給付を行う。 安心コール：医療・福祉の専門職が定期的に電話をするなど、健康相談と安否確認を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	高齢者緊急安全システム設置率 設置世帯数 ÷ 高齢者のみの世帯【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 世帯	1,422	1,584	1,436	1,518	1,438	1,500	94.7	93.6
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	2.2	4.4	2.1	4.4	2.2	4.4	50.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	58,814	65,458	58,555	63,943	59,836	63,571	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	21,442	12,515	16,636	19,127	19,304	13,582	
	上記以外の職員	7 千円	3,675	3,675	3,678	3,678	1,523	1,523	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	83,931	81,648	78,869	86,748	80,663	78,676		
財源	受益者負担分	9 千円	3,203	3,258	3,233	3,317	3,259	3,388	
	国・都からの補助金	10 千円	34,473	32,726	32,169	33,752	33,781	33,843	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	37,676	35,984	35,402	37,069	37,040	37,231	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	46,255	45,664	43,467	49,679	43,623	41,445	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 154

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	高齢者緊急通報システム (民間) 委託	1,336	世帯	52,348
	安心コール委託	126	世帯	2,740
	火災安全器具の設置	25	台	543
	その他 (安心おたっしや訪問消耗品費ほか)			4,205
取組成果	<p>令和5年度は緊急通報システムや安心コールについて広報すぎなみ(全戸配布の8月15日号)への紹介記事の掲載や、たすけあいネットワーク全体連絡会などのイベントの際にチラシを配布するなど周知に努めました。安心コール利用者は令和4年度130世帯から令和5年度126世帯と4世帯減少しましたが、緊急通報システム利用者は令和4年度1,287世帯から令和5年度1,336世帯へ増加しました。また、火災安全器具給付も周知に努めた結果、令和4年度実績19台から令和5年度25台に増やすことができました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯数の増加に伴い、急病時における対応や見守り、孤立死予防が求められています。認知症高齢者宅での火災事故を防止するためにも、当事業の果たす役割はより高まっているため、当事業のサービスを必要とする高齢者世帯に対して、より一層効果的な周知活動を行っていきます。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	緊急通報システム・安心コールについて、広報すぎなみ8月15日号に紹介記事を掲載したところ、高齢者や親続からの電話による問い合わせや、窓口への相談が増えました。今後、たすけあいネットワーク (地域の目) の関係会議・イベントや展示会の際のチラシ配布で更なる周知を図ります。緊急通報システム・安心コール・火災安全器具の設置の3事業を合わせた予算執行状況 (7月末まで) は約25%であり、年度末には90%以上の執行を見込んでいます。
事業の方向性・改善策	緊急通報システム・安心コールは新規申し込みがある一方、施設入所などで利用中止に至る件数も一定数あるため、利用者数は横ばいの状況ですが、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯数は増加していくことから、潜在的な需要は高いと考えられます。引き続き、民生委員や地域包括支援センター (ケア24) とより一層連携を図りながら、おたっしや訪問などの機会を捉え、必要な世帯への周知に努めていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>緊急通報システムについては、「通報の流れ」や「設置する機器」について利用者により詳しく案内できるよう地域包括支援センター (ケア24) 職員への情報提供を継続して行い、システムの利用者増を図ります。</p> <p>安心コールは、比較的元気で、緊急通報システムほどの緊急対応を必要としていない高齢者を中心に勧奨を行います。</p> <p>また認知症高齢者は、緊急でなくても緊急ボタンを押してしまうなど、緊急通報システムを適切に利用することが困難であるため、認知機能が低下しても在宅生活を継続していけるよう、火災安全器具給付事業の紹介に力を入れていく考えです。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00154)

事務事業名称	高齢者緊急ショートステイ			款	04	項	01	目	02	事業	023	整理番号	155
現担当課名	高齢者在宅支援課		係名	管理係			連絡先電話番号	3233		昨年度整理番号	158		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成17年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	03					
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内在住で介護保険の要介護度1以上で、日常的に医療行為が必要な、在宅で介護を受けている方	根拠法令等 (1) (2)	杉並区緊急ショートステイ事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護者が入院などにより要介護者を介護することができない事情が緊急で発生した場合に、要介護者を一時的に病院で受け入れ、在宅生活の安定と介護者の負担を軽減する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	利用者数 利用日数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内在住で介護保険の要介護1以上の方を日常介護している家族が、入院などにより介護ができなくなった場合に、病院で10日間を限度として要介護者を受け入れ、家族に代わって介護する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	高齢者緊急ショートステイ稼働率 (医療型) 利用日数 ÷ 利用可能日数 (365日 × 1床) 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	0	4	3	4	0	4	0.0	70.8
活動指標 (2)	2 日	0	25	29	25	0	25	0.0	
成果指標 (1)	3 %	0.0	7	7.9	7	0.0	0	0.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	8,726	4,579	3,901	4,579	3,241	4,090	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,170	4,922	5,074	2,094	2,323	2,503	令和5年度は利用実績が0日だったことから (令和4年度実績29日)、事業費が令和4年度年度3,901千円 (実績29日) から令和5年度3,241千円 (対前年度比83.1%) に減少しています。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	11,896	9,501	8,975	6,673	5,564	6,593		
財源	受益者負担分	9 千円	0	56	40	56	0	52	
	国・都からの補助金	10 千円	4,928	343	2,277	2,251	2,261	2,009	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	4,928	399	2,317	2,307	2,261	2,061	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	6,968	9,102	6,658	4,366	3,303	4,532	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 155

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	病院のベッドの年間借り上げ (確保料)		1	床
	その他 (管理事務費)			20
取組成果	令和5年度は利用実績0日でしたが、医療行為が必要な要介護者を介護する家族の急病などの緊急時のための受入施設として、区内の病院のベッド1床を継続して確保しています。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	令和4年度から医療型の緊急ショートステイとして実施しています。令和5年度は利用実績がありませんでしたが、引き続き、緊急時に備えていく必要があります。なお、受入先と調整の上、令和6年度からベッド確保料を1日当たり6,600円 (令和5年度8,800円) とし、事業コストを抑えました。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年7月末現在、利用実績0日となっています。
事業の方向性・改善策	セーフティネットとしての役割を果たせるよう、ケアマネージャー等に周知を図りながら、今後も緊急時のための支援として実施していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	令和6年度に見直したベッド確保料により、令和7年度も事業を実施していく予定です。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00155)

事務事業名称	高齢者援護	款	04	項	01	目	02	事業	024	整理番号	156	
現担当課名	高齢者在宅支援課	係名	施設入所係				連絡先電話番号	3253	昨年度整理番号	159		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成15年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	03				
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症等により、十分な判断能力がない区民 ○65歳以上の高齢者で、家庭の事情により緊急に保護を必要とし、かつ他に家族等が保護できない者 	根拠法令等	(1) 老人福祉法 (2) 杉並区高齢者緊急一時保護事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が健全で安らかな生活を送ることができるよう、判断能力が衰えても、本人の意思を尊重した権利擁護の仕組みを活用できるよう支援する。 徘徊や虐待等により緊急に保護が必要な場合、高齢者の安全を確保できるようにする。 	活動指標	要援護高齢者相談件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<ul style="list-style-type: none"> 要援護高齢者の権利擁護を図るため必要な支援を行う。 徘徊や虐待等により緊急に保護が必要な高齢者について、委託する高齢者施設に入所させ保護する。 要援護高齢者の介護保険施設等への入所措置により、高齢者の権利を保護する。 	指標名 (1)	要援護高齢者についての相談の延べ件数
		指標説明	
		成果指標	権利擁護・成年後見に関する支援件数
		指標名 (1)	要援護高齢者についての相談のうち権利擁護・成年後見に関する支援の延べ件数【社会】
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	120	120	145	130	150	140	115.4	87.2	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 件	79	80	49	90	55	100	61.1		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	2,975	7,514	6,545	7,237	6,311	7,242	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	17,854	17,520	18,216	17,884	21,430	17,579	令和 5年度の短期入所生活介護の措置実績が減少したため、扶助費の支出額が減少となりました。	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	20,829	25,034	24,761	25,121	27,741	24,821			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0		
	国・都からの補助金	10 千円	2,501	3,111	1,797	3,118	2,115	3,111		
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,501	3,111	1,797	3,118	2,115	3,111		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	18,328	21,923	22,964	22,003	25,626	21,710		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 156

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	高齢者緊急一時保護	1	所	6,039
	居宅介護サービス措置	1	人	38
	その他 (高齢者に対する各種援護・支援 (受診や訪問等同行・移送等) ほか)			234
取組成果	<p>高齢者緊急一時保護については、延べ4人に対し計87日の保護を実施しました。また、介護保険施設等への入所措置 (やむを得ない事由による措置) については、1人に対し1施設への措置を実施しました。</p> <p>これらの一時保護及び入所措置を実施することで、徘徊または徘徊以外の複合的要因により一時保護を必要とする高齢者や、虐待等により身体の安全が脅かされる恐れが高い高齢者の権利擁護に寄与することができました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>活動指標「要援護高齢者相談件数」では、援護を必要とする高齢者の様々な相談に対応し、計画130件に対し実績150件 (対計画比115.4%) と目標を達成できました。また、成果指標「権利擁護・成年後見に関する支援件数」では、計画90件に対し実績55件 (対計画比61.1%) と目標達成には至らなかったものの、前年度49件に対し今年度55件 (対前年度比112.2%) と増加しています。成年後見区長申立の件数は、前年度39件に対し今年度35件 (対前年度比89.7%) と微減でしたが、高齢者の権利擁護の手段としての役割を果たすことができました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>高齢者援護に関する令和6年7月末までの実績は、高齢者緊急一時保護については実績なし (第一四半期までの予算執行率24.1%)、介護保険施設等への入所措置 (やむを得ない事由による措置) については実績91日 (予算執行率93.4%)、活動指標「要援護高齢者相談件数」については55件 (計画値140件、対計画比39.3%)、成果指標「権利擁護・成年後見に関する支援件数」については18件 (計画値100件、対計画比18.0%) となっています。また、成年後見区長申立の令和6年7月末までの実績については11件となっており、年度内の延べ件数は、令和5年度とほぼ同様の33件程度になると見込まれています。</p> <p>これらの状況から、年度末時点での予算執行率は94%程度を見込んでいます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和5年度7月末時点と比較すると、高齢者緊急一時保護については延べ3人62日から実績0人と減少していますが、8月には一時保護を1人実施しました。対応困難なケースの一時保護が増加しており、保護中の病院同行やその他の行政手続き代行など、継続して適切な対応を図っていきます。</p> <p>また、活動指標「要援護高齢者相談件数」については43件から55件 (27.9%増) と大幅に増加していますが、成果指標「権利擁護・成年後見に関する支援件数」については21件から18件 (14.3%減) と減少しています。</p> <p>高齢者の権利擁護を図るため、引き続き、関係部署と連携を密にしながら、個々のケースに応じた適切な支援に取り組んでいきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者緊急一時保護事業委託については、近年の人件費や物価の高騰に伴う見積金額の上昇や困難ケースの増加に伴う事務量の増大も想定されますが、契約における仕様について検討を重ねた上で、委託事業者の変更も視野に入れ、コスト上昇を抑えながら、業務を適切かつ効率的に推進していくことができるよう取り組んでいきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00157)

事務事業名称	地域認知症ケアの推進			款	04	項	01	目	02	事業	026	整理番号	158	
現担当課名	高齢者在宅支援課	係名	地域包括ケア推進係	連絡先電話番号	3276			昨年度整理番号	161					
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成20年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	認知症の人及び介護家族、サービス提供事業者等	根拠法令等	(1) 杉並区地域認知症ケア推進事業実施要綱 (2) 杉並区地域認知症ケアの推進事業費補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	地域認知症ケア推進事業を通して、認知症の人やその家族が地域で支えられ、安心して生活ができる地域づくりを目指す。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	チームオレンジを中心とした認知症ケア地域支援ネットワーク連絡会の回数 チームオレンジメンバーが参加するネットワークづくりを目的とした連絡会
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	認知症に対する理解を深め地域で支える環境づくりを進めるため、認知症ケアの拠点である認知症高齢者グループホームを活用し、地域との交流を図る会食会等のイベントを実施する。 認知症の本人とその家族に対する支援を行っている関係機関が、支援の現状や取組について相互交流するチームオレンジを中心とした認知症ケア地域支援ネットワーク連絡会を実施する。 認知症地域支援推進員を中心として認知症ケアパスの普及を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	チームオレンジのチーム数 認知症サポーター がチームとなって活動するチームオレンジのチーム数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	0	5	1	1	1	1	100.0	64.6
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 チーム	4	5	4	4	4	3	100.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	87	913	581	1,115	720	896	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	10,345	10,012	10,231	9,982	10,213	10,213	令和5年度に新たに認知症普及啓発事業費を新設したため、事業費が増加しましたが、グループホームのイベント経費の補助金の申請が当初の見込みより少なかったため、執行残が発生しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	10,432	10,925	10,812	11,097	10,933	11,109		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	44	456	290	406	307	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	44	456	290	406	307	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	10,388	10,469	10,522	10,691	10,626	11,109	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 158

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	認知症ケアパスの作成	6,000	冊	436
	認知症ケア地域支援ネットワーク連絡会等開催	1	回	0
	その他 (通信及び運搬費、謝礼)			284
取組成果	<p>認知症ケアパス(令和4年度改訂)は、ケア24や区立施設等への配布を通して一層の普及に取り組みました。認知症ケア地域支援ネットワーク連絡会では、認知症介護研究・研修東京センターとの協働により、チームオレンジとサポート事業所を対象に合同研修を開催(参加者57名)し、相互交流や情報交換を行い連携を深めることができました。チームオレンジには状況把握と助言を行い、新たに4チーム(累計12チーム)を設置しました。地域認知症ケアの推進事業費補助金は、「補助金の検証・評価基準」を基にした検証及びヒアリングを行い、令和5年度をもって廃止としました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>地域認知症ケア推進事業としてグループホームのイベントへの補助を行っていましたが、近年執行率が下がっていること等から、令和5年度末をもって当該補助を廃止する一方、広く認知症の普及啓発に役立つ事業の企画・実施を進めることとしました。認知症ケアパスは、認知症診断直後やもの忘れが気になり出した方に早期に配布できるよう、配布先を増やしていきます。</p> <p>各ケア24においてチームオレンジの取組を進めていますが、認知症本人の参加ができるよう活動内容の工夫をすることが課題となっています。引き続き、チームオレンジを中心としたネットワーク連絡会において活動を推進する取組を実施することやチームオレンジの状況把握や活動時の助言を継続して行き、育成支援を進めていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>認知症介護研究・研修東京センターとの連携協働事業により、区民やケア24、チームオレンジ、認知症サポート事業所等を対象に講演会や研修等を開催し、認知症の人への理解促進を図ることができました。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」を踏まえ、更なる認知症理解の促進に向けて、若年性認知症の本人の実話を描いた映画「オレンジ・ランプ」の上映会を2回(9月11日職員、10月5日区民を対象)実施します。認知症ケアパスについては、コミュニティふらっとや銭湯等に配布先を増やすことができるとともに(7月末までに3,718部配布)、もの忘れ予防検診(10月~7年2月実施)の受診者配布を通して、認知症や認知症の人に対する正しい理解の普及啓発を強化していきます。チームオレンジの育成については、活動状況の実地ヒアリングと支援を行い、令和6年度中に新規3チームを設置する予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後は「認知症基本法」を踏まえ、「共生社会の実現」「本人参画」等に向けて、各施策を推進する必要があります。認知症ケアパスについては、更なる普及と活用の促進を図るとともに、令和7年度の改定時には、より一層、認知症の人や家族の意見を反映させていきます。チームオレンジについては、20か所のケア24に各1チームの設置を目標に順調にチーム育成をしていますが、チーム数増加に伴い、今後も状況に応じた活動時の助言等に努める必要があります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>認知症施策については、今後も更なる工夫を重ねて効果的に実施する必要があります。そのため、認知症の各事業において認知症本人の参画の機会を設定したり、共生社会の実現に向けて各施策を強化する必要があります。認知症ケアパスについては、7年度に内容を改定する予定ですが、予算は概ね現状維持を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00159)

事務事業名称	介護保険住宅改修の理由書作成に対する助成			款 04	項 01	目 02	事業 029	整理番号	159
現担当課名	介護保険課	係名	給付係	連絡先電話番号			1334	昨年度整理番号	162
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援						予算事業区分	既定事業	
事業開始	平成12年度								
令和 5年度担当課名	介護保険課			事業評価区分			一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象 介護支援専門員等	根拠法令等 (1) (2)	杉並区介護保険住宅改修支援事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 要介護 (支援) 認定者の住宅改修に際し、介護支援専門員等が作成した理由書が必要とされているため、介護支援専門員等による理由書作成を支援する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	住宅改修の理由書作成に対する助成金交付
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段) 介護支援専門員等が、居宅介護 (予防) 支援の提供を受けていない要介護者等に対して住宅改修費の支給の申請に係る理由書を作成した場合、理由書作成料 (1件2,000円) を助成する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	居宅介護 (予防) 住宅改修費支給件数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	8	25	7	15	6	0	40.0	40.0	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 件	1,451	1,728	1,439	1,788	1,346	0	75.3		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	16	50	14	30	12	30	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	0	0	0	0	0	平成30年度以降、申請数が一桁台で推移していることなどを踏まえ、令和6年度以降は、高齢者在宅支援課が契約する「杉並区地域包括支援センター (ケア24) 運営委託」による業務の一環として、地域包括の職員が理由書を作成 (利用者負担無し) することとし、本事業は令和6年3月31日をもって廃止しました。		
	上記以外の職員	7 千円	368	368	368	368	381			0
総事業費 (5+6+7)	8 千円	384	418	382	398	393	30			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0			0
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	384	418	382	398	393			30

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 159

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	住宅改修の理由書作成に対する助成金交付		6	件
	その他 ()			
取組成果	<p>居宅介護 (予防) 支援の提供を受けていない要介護 (支援) 者に対して、介護支援専門員等が居宅介護住宅改修費の支給申請に必要な「理由書」を作成した場合に、介護支援専門員等に対して1件当たり2,000円を助成する事業です。令和5年度は主に地域包括支援センター (ケア24) による6件の実績があり、居宅介護支援の提供を受けていない要介護 (支援) 者に対する住宅改修費の支給につなげました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和5年度は住宅改修の給付実績が1,346件でしたが、住宅改修を実施する要介護 (支援) 者は、ほとんどが居宅介護支援の提供を受けているため、助成対象となった件数は6件でした。平成30年度以降、申請数が一桁台で推移していることなどを踏まえ、令和6年度以降は、高齢者在宅支援課が契約する「杉並区地域包括支援センター (ケア24) 運営委託」による業務の一環として、地域包括支援センター (ケア24) の職員が理由書を作成 (利用者負担無し) することとし、本事業は令和6年3月31日をもって廃止しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>平成30年度以降、申請数が一桁台で推移していることなどを踏まえ、令和6年度以降は、高齢者在宅支援課が契約する「杉並区地域包括支援センター (ケア24) 運営委託」による業務の一環として、地域包括の職員が理由書を作成 (利用者負担無し) することとし、本事業は令和6年3月31日をもって廃止しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>平成30年度以降、申請数が一桁台で推移していることなどを踏まえ、令和6年度以降は、高齢者在宅支援課が契約する「杉並区地域包括支援センター (ケア24) 運営委託」による業務の一環として、地域包括の職員が理由書を作成 (利用者負担無し) することとし、本事業は令和6年3月31日をもって廃止しました。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	その他・対象外
	II 事業の改善の方向性	対象外
予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年度以降、申請数が一桁台で推移していることなどを踏まえ、令和6年度以降は、高齢者在宅支援課が契約する「杉並区地域包括支援センター (ケア24) 運営委託」による業務の一環として、地域包括の職員が理由書を作成 (利用者負担無し) することとし、本事業は令和6年3月31日をもって廃止しました。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00160)

事務事業名称	介護サービス利用低所得者の負担軽減			款	04	項	01	目	02	事業	030	整理番号	160	
現担当課名	介護保険課	係名	給付係	連絡先電話番号				1334	昨年度整理番号	163				
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成12年度													
令和 5年度担当課名	介護保険課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	介護保険サービスを利用する低所得者であって、各々の条件に該当する利用者	根拠法令等	(1) 杉並区生計困難者に対する介護保険サービスに係る利用者負担軽減事業実施要綱 (2) 杉並区社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険利用者負担額軽減措置事業補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護保険サービスを利用する低所得者に対し、自己負担金を軽減することで、必要なサービスを確保できるようにする。	活動指標	社会福祉法人等の利用者負担軽減受給者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	生計が困難である利用者に対し、社会福祉法人等が自己負担の軽減を行い、区がその経費の一部を助成する。 上記の利用者負担額軽減に加え、区が同一月の利用者負担額の2分の1を助成する。 老齢福祉年金受給者及び生活保護境界層該当者に対し、利用者負担額の上限額を月額3,000円とし、それを超えた分について、区が助成する。	指標名 (1)	
		指標説明	
		成果指標	社会福祉法人等の利用者負担軽減受給者の助成金額の総額
		指標名 (1)	【行政】
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	118	170	104	170	75	150	44.1	61.3	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 円	2,981,578	3,760,000	2,787,580	3,760,000	2,640,124	3,300,000	70.2		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	8,356	11,674	7,881	10,837	6,644	9,760	特記事項 国制度に都制度を上乗せした「生計困難者に対する利用者負担額の軽減」事業は執行率70%でした。区制度である「特別助成」は執行率28%でした。これらにより、予算執行率が低くなったものです。		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	5,840	5,840	5,823	5,823	5,860			5,860
	上記以外の職員	7 千円	368	368	368	368	381			381
総事業費 (5+6+7)	8 千円	14,564	17,882	14,072	17,028	12,885	16,001			
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0			0
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0			0
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0			0
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	14,564	17,882	14,072	17,028	12,885	16,001			

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 160

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	社会福祉法人等の利用者負担軽減に対する助成 (軽減確認証交付件数)	75	件	2,640
	生計困難者に対する利用者負担額の特別助成 (支給件数)	637	件	3,466
	低所得者の介護保険サービス利用者負担額の助成 (支給件数)	40	件	468
	その他 (郵送費等)			70
取組成果	社会福祉法人等の利用者負担軽減に対する助成は、軽減確認証を75人に交付し、利用者負担を軽減しました。生計困難者に対する利用者負担額の特別助成の支給件数は637件、低所得者の介護保険サービス利用者負担額の助成件数は40件でした。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	低所得者に対する利用者負担軽減事業は、国や都の制度による助成に加え、区独自の助成制度を適用することにより、低所得の要介護者も、安心して介護サービスを利用することができています。令和5年度は、区内の社会福祉法人、その他の事業者が軽減制度の利用者にサービスを提供し、助成を受けた事業所数は延べ71件であり、今後も事業への理解・協力を働きかけていきます。区制度である「低所得者の介護保険サービス利用者負担額の助成」の対象となる高齢福祉年金受給者は、現在利用者がおらず、境界層該当証明書の交付により助成の対象となる利用者も一桁台であること等から、制度の廃止を視野に検討する必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年度8月末時点の軽減確認証交付件数は67件で、「社会福祉法人等の利用者負担軽減に対する助成」は、上半期と下半期の実績による申請を受けて執行します。「生計困難者に対する利用者負担額の特別助成」は前年度比89%、「低所得者の介護保険サービス利用者負担額の助成」は104%です。社会福祉法人等の利用者負担軽減に対する助成については、年度末に行う集団指導 (制度改正や介護給付等対象サービスの取扱い、介護報酬の内容などについて、介護保険事業者に周知するために行う講習会) において、軽減事業を実施していない法人や事業所においては事業実施協力を、介護支援専門員においては利用者への周知を行っていただくよう働きかけます。
事業の方向性・改善策	社会福祉法人等の利用者負担軽減に対する助成は、社会福祉法人が低所得者の負担軽減を行うことは本来の使命との考えの下、国が定めた事業実施要綱に基づき実施しているものであり、事業は現状維持により継続します。区制度である「生計困難者に対する利用者負担額の特別助成」は、令和6年の制度改正で、施設を利用した場合の食費・居住費の負担限度額が引き上げられていることもあるため、低所得者のサービス利用が困難とならないように現状維持により継続します。もう一つの区制度である「介護保険サービス利用者負担額の助成」については、対象者が限られていること、法による軽減制度の上乗せ事業となっていることによる受益者負担の不均衡を考慮し、今年度中をもって事業を廃止する考えです。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	社会福祉法人等の利用者負担軽減に対する助成は、社会福祉法人が軽減した利用者負担の一部を、国と都道府県、区市町村が公費により助成しているものであり、現状維持により継続します。区制度である「生計困難者に対する利用者負担額の特別助成」は、低所得者のサービス利用が困難とならないように現状維持により継続します。もう一つの区制度である「介護保険サービス利用者負担額の助成」については、令和6年度をもって廃止とする考えです。これにより事業コストは縮小を見込んでいます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00162)

事務事業名称	ゆうゆう館の運営	款	04	項	01	目	02	事業	033	整理番号	161
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設担当係					連絡先電話番号	1153	昨年度整理番号	164
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和38年度										
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者、NPO法人等の協働事業実施団体	根拠法令等 (1) (2)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 老人福祉法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	NPO法人等との協働により、ゆうゆう館の管理運営を効率的かつ利用者にとって魅力ある運営を行う。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	協働事業実施回数 協働事業年間参加者数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等に委託する。効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。ゆうゆう館の円滑な運営のため、運営団体と意見交換を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	ゆうゆう館部屋稼働率 使用した回数 ÷ 使用可能枠数【行政】 協働事業参加者の満足度 利用者アンケートで、「大いに満足」「満足」と回答した人の割合【区民】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	8,000	9,000	8,914	9,500	9,548	10,000	100.5	99.7
活動指標 (2)	2 人	66,824	90,000	79,595	90,000	87,406	95,000	97.1	
成果指標 (1)	3 %	40.4	50	49.8	55	46.7	55	84.9	
成果指標 (2)	4 %	97.2	90	97.2	98	97.5	98	99.5	
事業費	5 千円	259,604	254,382	253,966	261,999	261,105	278,357	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	17,270	16,009	16,950	13,299	16,677	28,461	
	上記以外の職員	7 千円	2,940	6,615	6,620	6,620	6,853	6,853	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	279,814	277,006	277,536	281,918	284,635	313,671		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	279,814	277,006	277,536	281,918	284,635	313,671	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 161

内容	規模	単位	事業費 (千円)
ゆうゆう館受付等業務委託 (うち協働事業館28館)	28	館	258,156
協働事業館支援事業の実施 (パソコン・のぼり旗購入)	28	館	2,763
ゆうゆう館協働事業実施団体評価委員会及び選定委員会開催	5	回	186
その他 ()			

取組成果

利用者は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度以降大幅に減少していましたが、徐々に回復し、全館の利用者は延べ276,156人(目的外使用や行政使用等を含めると323,303人)となりました。また、協働事業は9,548回実施し、参加者は延べ87,406人でした。
協働事業実施団体の3年ごとの更新に当たり、受託開始から3年若しくは6年が経過した8団体を対象に評価を行った結果、いずれの団体も更新可となりました。また、9年が経過した5団体について、新たに選定を行った結果、ゆうゆう荻窪東館のみ新たな運営団体に変更となりました。

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	ゆうゆう館は、平成23年度から全館が受付業務受託館及び協働事業実施館となり、利用者のニーズに合わせた「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」に関する協働事業を実施し、順調な運営を行っています。一方で、高齢者専用施設としての特性から、夜間の利用が少なく、施設の有効活用を図る必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	この間、区立施設再編整備計画において、ゆうゆう館は高齢者の活動場所を確保した上で、多世代型の施設である「コミュニティふらっと」にその機能を継承することとし、5館がコミュニティふらっとに移行しました。一方で、こうした従来のゆうゆう館再編整備の取組は、対象となる施設の利用者や地域住民等の意見を十分に反映できていなかったことが最大の課題と受け止めており、新たに策定した区立施設マネジメント計画においては、対象施設の利用者等が参加した地域毎のワークショップを開催して区民と共に今後の取組案をまとめていくこととしました。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	各館においては、感染症対策を実施しつつ、コロナ禍前の規模まで拡大しながら敬老月間イベントを開催するほか、多種多様な協働事業を実施しています。こうした協働事業実施団体の更新に当たり、受託開始から6年が経過した5団体について、いずれも更新可としました。また、令和6年度末で現在の運営団体が協定期間満了となる3施設については、選定委員会を設置し、9月から事業者の公募・選定を開始します。このほか、ゆうゆう天沼館を令和6年9月で閉館し、コミュニティふらっと本天沼へ機能継承します。また、区立施設マネジメント計画に基づき、4つのゆうゆう館及び周辺施設のあり方について、ワークショップ等での意見交換を積み重ねながら、取組案を検討しています。なお、予算執行状況については、概ね計画どおりに進捗する見込みです。
事業の方向性・改善策	ゆうゆう館については、高齢者の社会参加や交流、いきがい活動の場として重要な役割を担っています。これらの役割を十分に果たすために、運営事業者との意見交換会や受付職員との事務連絡会を通じて、利用者のニーズや施設の利用実態を十分に把握し、運営していきます。また、施設マネジメント計画に基づき実施したワークショップやその後の計画改定に、ゆうゆう館の利用者等の声を反映していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し
予算の方向性の理由・内容	ゆうゆう天沼館がコミュニティふらっと本天沼に機能継承し、令和6年9月で閉館となるため、事業費は縮小となります。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00163)

事務事業名称	三療サービス	款	04	項	01	目	02	事業	034	整理番号	162
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1164	昨年度整理番号	165
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和48年度										
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	60歳以上の区民	根拠法令等	(1) (2)	杉並区三療サービス事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	マッサージやはりによる施術を受けることにより、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進・健康増進を図り、いきいきと暮らせるようにする。	活動指標	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	実施回数 ゆうゆう館でのサービス実施回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ゆうゆう館で行うマッサージによる施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。	指標説明	成果指標	60歳以上の区民で利用している人の割合
		指標説明	指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	利用者数 ÷ (当該年度4月1日付け) 60歳以上の区民【行政】 三療サービス利用者数 ゆうゆう館でのサービス利用人数

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 人	444	432	428	425	421	411	99.1	97.8
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	1.8	3.5	1.9	3.4	2.2	3.3	64.7	
成果指標 (2)	4	2,684	5,184	2,776	5,100	3,290	4,932	64.5	
事業費	5 千円	11,514	11,343	11,118	11,336	11,087	11,315	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,811	2,977	2,989	4,821	3,723	3,348	事業実施状況をより明確にするために、活動指標に「実施回数」を追加しました。成果指標 (1) については、「60歳以上の区民で利用している人の割合」とより適切な表現に変更しました。三療サービス利用者数については、「区が提供したサービスに対してどのくらい利用があったか」を表す指標なので、活動指標から成果指標に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	381	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	15,325	14,320	14,107	16,157	14,810	15,044		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	5,818	5,671	5,559	5,668	5,668	5,658	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	5,818	5,671	5,559	5,668	5,668	5,658	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	9,507	8,649	8,548	10,489	9,142	9,386	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 162

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	三療サービス (ゆうゆう館) 事業委託			9,316
	その他 (シーツの洗濯料ほか)			1,771
取組成果	<p>令和5年度は、11月にコミュニティふらっと方南へ機能を継承したゆうゆう方南館が閉鎖したものの、各ゆうゆう館で行っているマッサージの施術は前年度並みの年間421回 (天候・施設設備不良により4回中止) 実施しました。</p> <p>利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向が続いていましたが、令和5年5月に5類に移行したこともあり、令和4年度実績よりも500名以上増加しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>ゆうゆう館における三療サービス利用者数は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で大きく落ち込み、目標人数に対して実績人数は50%前後でしたが、令和5年度は65%まで上昇しており、引き続き、利用の周知等に努めていく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>三療サービス事業は、令和2年度以降利用者数の低迷が続いているため、高齢者の多く集まる敬老会でのチラシ配布をはじめ、施術者及びゆうゆう館でも自主的に町会回覧板や掲示板を利用した区民周知を行っています。また、令和4年度から暫定的に実施している空き枠の2回目利用を実施しているものの、令和6年7月までの利用率は66%となっています。</p> <p>予算については概ね計画通りの執行見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>サービス利用者数が低迷する中で、事業の目的である高齢者の健康保持・向上について、引き続き受託者である杉並区高齢者三療サービス連絡協議会と意見交換しながら利用促進を図っていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>事業の方向性は現状維持ですが、令和6年度にゆうゆう天沼館が閉館することに伴い、事業実施場所が26施設となり、コストは1館分縮小します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00164)

事務事業名称	敬老事業	款	04	項	01	目	02	事業	035	整理番号	163
現担当課名	高齢者施策課	係名	いきがい活動支援係					連絡先電話番号	1165	昨年度整理番号	166
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和25年度										
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	敬老会 75歳以上の高齢者 祝い品 75歳(28年度まで)、81歳(令和2年度まで)、90歳(29年度より)、100歳以上の高齢者	根拠法令等 (1) (2)	老人福祉法第4条、5条、第13条第1項 杉並区敬老事業実施要綱
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	敬老事業が対象者の日常生活に、新たな価値や意味を見出すきっかけとなり、健やかに充実した後期高齢期を過ごし、意欲や活力が高められるようにする。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	敬老会参加者数 祝い品贈呈者数(90歳、100歳以上)
事業内容(事務事業の内容、やり方、手段)	高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 対象者に敬老祝い品(90歳)、長寿祝い品(100歳以上)を贈呈(戸別配送)する。 在宅で生活している100歳以上の2名に対して、区長が訪問し、贈呈を行う。	指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	敬老会来場率 来場者÷対象者【行政】 祝い品贈呈率 贈呈者数÷対象者数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標(1)	1 人	3,690	6,300	4,722	6,750	5,278	6,750	78.2	96.6
活動指標(2)	2 人	2,308	2,412	2,409	2,542	2,583	2,527	101.6	
成果指標(1)	3 %	5.7	9.4	7.0	9.6	7.6	9.1	79.2	
成果指標(2)	4 %	95.7	98	95.9	98	97.6	98	99.6	
事業費	5 千円	37,859	42,152	40,243	41,832	40,410	43,131	特記事項	
人件費	常勤職員分(再任用含)	6 千円	13,981	12,808	13,000	10,310	7,277	8,371	成果目標の指標名(2)について、「祝い品交換率」から「祝い品贈呈率」に変更しました。令和2年度までは、敬老祝い品として、交換を要するカタログギフトを贈呈していましたが、令和3年度から区内共通商品券へと祝い品の内容を変更したためです。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	381	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	51,840	54,960	53,243	52,142	47,687	51,883		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	12,913	11,494	11,492	12,063	11,818	12,289	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	12,913	11,494	11,492	12,063	11,818	12,289	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	38,927	43,466	41,751	40,079	35,869	39,594	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 163

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	敬老祝い品商品券の購入	2,583	人	15,576
	敬老会企画・運営・演奏等委託料			12,592
	案内状等印刷封入封緘委託及び郵送料			8,920
	公会堂施設使用料	5	日	2,776
	その他 (敬老祝い状、梱包用品等消耗品購入ほか)			546
取組成果	<p>敬老会については、新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことにより、高齢者の生活が通常に戻りつつあったことから、5,278人 (前年度比約600人増) の来場がありました。</p> <p>敬老祝い品については、90歳と100歳以上の方に区内共通商品券による祝いを2583人に贈りました。そのほか、在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつを区長が訪問し、花束の贈呈をしました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>敬老会の対象である75歳以上の年齢は、敬老事業が開始された昭和25年は約3,000人でしたが、令和5年度では、約70,000人で約23倍となっています。今後も高齢者人口の増加に伴い、対象者・事業費ともに増加していくことが予想されます。</p> <p>こうした中で、年に1回の敬老会の式典を楽しみにしている高齢者もいるものの、対象者に対し、来場者率は7.6%と低い現状等を踏まえ、令和8年度に向けて敬老会事業の見直しを検討します。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>敬老祝い品は、令和4年度まで、100歳以上の対象者については贈呈希望の回答を必要としていましたが、令和5年度から原則不要としました。加えて、祝い品未受領者に対して勧奨通知を送付したことで、祝い品贈呈率が増加しました。今後とも、高齢者人口の増加に伴い、事業費の拡大が見込まれます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度の敬老会については、団塊の世代が75歳を迎え、対象者が1,500名程度増加しましたが、参加申込者については昨年度と同様の7,300名程度となっており、コロナ前の水準までは戻っていません。</p> <p>予算については、敬老会の申込者数が想定より少なかったため、若干の執行残が生じる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>敬老会の見直し検討に資するため、令和6年6月に対象者1,000名に対して実施したアンケートでは、48%の回答率を得ました。このアンケート結果を踏まえ、令和6年度中に、令和8年度に実施予定としている敬老会の見直しの方向性をまとめていきます。</p> <p>敬老祝い品については、現行の事業を継続して実施していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>郵送料の値上げや対象者の増加により敬老会・敬老祝い品共に役務費が増加する見込みのため、事業コストの方向性は拡充となります。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00165)

事務事業名称	長寿応援ポイント事業			款 04	項 01	目 02	事業 036	整理番号	164
現担当課名	高齢者施策課	係名	長寿応援ポイント担当	連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	167	
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援					予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成21年度	実行計画事業	目標 05	施策 15	計画事業 04				
令和 5年度担当課名	高齢者施策課					事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	地域貢献活動及び健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は75歳以上の区民	根拠法令等 (1) (2)	杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 杉並区長寿応援ポイント事業運営会議設置要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者の外出を促し、健康長寿や社会参加を応援するとともに、地域のささえあいが進展することを旨とする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	活動登録グループ件数 (新規) 新たに活動登録をして長寿応援ポイント事業を利用する団体数 活動登録グループ件数 (総数)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区が認定した「地域貢献活動」等への高齢者の参加に対してポイントを配布する。貯めたポイントは、地域貢献活動団体に助成する目的で設置した長寿応援ファンドや各種基金等への寄附及び区内共通商品券の交換等に充てる。 業務は民間事業者への委託により行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	長寿応援ポイント事業を利用している活動登録団体数 ポイント交換総数 活動に参加し貯めたポイントを交換した総ポイント数 ポイント交換者数 (実人数) 長寿応援ポイント事業に参加した60歳以上の高齢者の実人数

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	39	60	42	60	47	60	78.3	94.7
活動指標 (2)	2 件	1,350	0	1,351	0	1,350	1,360	0.0	
成果指標 (1)	3 ポイント	693,250	658,000	706,700	658,000	749,375	838,600	113.9	
成果指標 (2)	4 人	4,191	0	3,892	0	4,236	4,792	0.0	
事業費	5 千円	77,896	94,026	84,325	94,749	89,748	95,045	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	12,515	9,133	9,140	12,477	13,812	9,041	実行計画等に基づき、令和7年4月から実施する見直し後の事業において目標参加率を定めたことにより、指標を変更しました。なお、見直し前となる令和4・5年度については、計画値を設定していません。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	1,904		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	90,411	103,159	93,465	107,226	103,560	105,990		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	22,025	23,089	21,502	20,909	21,937	23,467	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	22,025	23,089	21,502	20,909	21,937	23,467	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	68,386	80,070	71,963	86,317	81,623	82,523	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 164

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	長寿応援ポイント事業業務委託 (受付等業務委託含む)			
	商品券の購入			38,000
	ポイントシール台紙、ポイントシール、有効期限周知用チラシ印刷等			1,664
	長寿応援ポイント事業運営会議の開催	8	回	216
	その他 (電子複写機賃貸借・保守、郵送料、消耗品購入ほか)			10,768
取組成果	<p>令和5年度末の登録活動数は、新規の活動団体登録が47件あった一方、活動廃止の団体があったことなどから令和4年度末より1件減少の1,350件でした。</p> <p>長寿応援ファンドを活用し、高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動や、誰もが住みやすいまちづくりを進める活動を行う2団体に助成を行いました。また、実行計画等に基づき、見直しの基本的な考え方や見直しの方向性 (たたき台) を作成の上、地域活動団体関係者等から聴取した意見を踏まえてたたき台を一部修正し、令和7年度から実施する事業の見直し内容をまとめました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>長寿応援ポイント事業は、これまでの実績から高齢者の地域貢献活動やいきがい・仲間づくり等に寄与するものと受け止めていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、近年は登録活動団体数、ポイント交換者数とも減少しており、未だ感染症前の実績水準には戻っていません。これらの状況を踏まえ、より多くの高齢者の参加促進を図るとともに持続可能性の高い事業となるよう、見直し後の事業を令和7年度から円滑に実施するための検討・準備を進めていきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>新型コロナウイルス感染症による高齢者の社会活動に対する制限等の影響により、コロナ禍以前に比べ、近年は大幅にポイント交換者数が減少していますが、徐々に高齢者の社会活動が戻りつつあります。しかし、コロナ禍前の実績水準には活動が戻っていないことや、ポイントシール交換可能期間が3年間あるため、感染症により社会参加が減少した令和3年度及び令和4年度の活動実績分の交換者があることなどから、予算執行率は前年度より微増となると見込まれます。こうした中で、令和7年4月から事業を見直すことから、ポイント交換時等に見直し内容の周知を令和6年7月から開始するとともに、見直し後の事業を円滑に実施するための検討・準備を確実に進めていきます。</p>
事業の方向性・改善策	<p>長寿応援ポイント事業には、今後の更なる高齢化の進展を見据え、高齢者が地域活動や地域貢献活動への参加を通じて、いきがいを持ち、地域社会で支え合いながら生活することができる社会を目指す取組として意義があります。このため、より一層、多くの高齢者に参加していただくとともに、公平で効果的な取組となるよう、令和7年4月からの事業の見直し内容を決定しました。なお、見直し後の事業の実施状況を踏まえ、令和10年度の上半期を目途に改めて検証を行う予定です。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>事業参加者数は、徐々にコロナ禍前の状況に戻る事が想定され、更に令和7年4月からの事業の見直しに伴う増加を見込んでおりますが、長寿応援ファンドの廃止や1年度当たりの付与ポイント上限の段階的な引き下げもあり、予算規模は現状維持で対応可能と見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00834)

事務事業名称	認知症予防検診			款	04	項	01	目	02	事業	098	整理番号	169
現担当課名	高齢者在宅支援課		係名	地域包括ケア推進係			連絡先電話番号	3276		昨年度整理番号	173		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援								予算事業区分	既定事業			
事業開始	令和 3年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課								事業評価区分	一般			

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	当該年度に70歳になる区民	根拠法令等 (1) (2)	杉並区認知症予防検診事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	認知症の早期発見・早期対応及び認知症予防の普及啓発を目的に認知症予防検診を行う。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	認知症予防検診案内送付数 当該年度70歳になる区民へ認知症予防検診案内を送付
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	当該年度に70歳になる区民を対象に認知症チェックリストや認知症予防に関するパンフレット及び受診票を送付する。検診対象者は認知症チェックリストで基準を越えた方とする。認知症の疑いがある方へ専門医療機関の紹介や同意が得られた方はケア24がフォローする。認知症の疑いがなかった方へも認知症予防の取組を紹介する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	認知症予防検診受診者数 【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 人	5,070	5,200	5,080	5,200	4,887	5,200	94.0	62.3			
活動指標 (2)	2											
成果指標 (1)	3 人	52	500	120	500	115	500	23.0				
成果指標 (2)	4											
事業費	5 千円	6,337	5,649	3,442	6,006	3,742	5,769	特記事項				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	11,930	8,343	8,568	8,318	8,371	8,538	もの忘れ予防検診受診者が当初の見込みよりも少なかったため、事業費に執行残が生じました。			
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	18,267	13,992	12,010	14,324	12,113	14,307					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	6,337	5,649	3,441	6,006	3,742	5,769				
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	6,337	5,649	3,441	6,006	3,742	5,769				
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	11,930	8,343	8,569	8,318	8,371	8,538				

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 169

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	認知症予防検診の運営	67	所	557
	検診案内の作成及び送付等	4,887	人	1,584
	システム運営	2	台	1,601
	その他 ()			
取組成果	<p>令和5年度は70歳になる区民4,887人を対象にもの忘れ予防検診を実施しました。普及啓発の取組として対象となる区民への個別通知やポスター掲示による勧奨を実施し、115人が受診しました（受診率2.35%）。検診の結果、12人に認知機能異常の疑いがあり、同意が得られた8人をケア24の職員が訪問や電話相談などにより、生活状況や専門医療機関の受診結果を確認し、地域活動の情報提供を行いました。（令和4年度検診対象者5,080人、受診者数120人、受診率2.36%、認知機能障害の疑いあり14人）</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>令和5年度末に、令和6年度以降の東京都の認知症サポート検診事業の対象年齢を70歳以上から50歳以上に拡大することが示されました。これを受け、区では令和7年度以降の検診対象者について、他自治体の動向の把握、認知症疾患医療センターや医師会、在宅医療推進連絡協議会認知症施策推進部会等の意見を聴取しながら検討することとしました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年度の認知症予防検診は70歳になる区民を対象に計画通り実施し、70歳になる区民へ認知症チェックリスト等を送付し認知症の理解の促進を図るとともに、認知症の早期発見と対応を行います。また、令和6年3月の東京都による検診対象年齢拡大等の通知を踏まえ（認知症サポート検診事業：10分の10の補助）、令和7年度以降の検診対象年齢や診断後の支援体制と周知方法等について、7月に医師会及び認知症疾患医療センター等と打合せを行い、受け入れ体制と医学的対応の助言を得るとともに、在宅医療推進連絡協議会認知症施策推進部会にて関係機関や区民意見を聴取しました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和7年度以降の検診対象者の拡大に向けて、専門的助言や関係機関からの意見を踏まえ、検診対象を現状の70歳から50～70歳へ拡大し、受診券の配布は個別郵送に加え、実施医療機関に設置する方向で、具体的検討を進めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善) ・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>高齢者人口と認知症者の増加に伴い、認知症の早期発見・早期対応及び認知症予防の普及啓発の重要性は増しています。昨年度は東京都の事業縮小予定に応じて予算を縮小方向としましたが、令和5年度末の東京都による事業拡大の方向転換に伴い、令和7年度以降の予算を拡充して検診対象者や周知の拡大を図り、より効果的な検診事業を実施します。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00223)

事務事業名称	高齢者在宅サービスセンター等の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	009	整理番号	209
現担当課名	高齢者施策課		係名	管理係		連絡先電話番号	1162		昨年度整理番号	214			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和59年度												
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	各高齢者在宅サービスセンター、施設所有者 特別養護老人ホーム上井草園	根拠法令等 (1) 老人福祉法 (2) 介護保険法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	各高齢者在宅サービスセンター及び特別養護老人ホーム上井草園について、施設の借り上げや必要な修繕を実施し、区民に良質な介護サービスを提供する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	各高齢者在宅サービスセンター及び特別養護老人ホーム上井草園の事業が円滑かつ効果的に行えるよう、適切な施設賃借料にて施設の借り上げを行うとともに、維持管理をする。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								33.6
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	55,306	58,772	58,619	164,687	55,259	242,349	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,503	2,503	3,410	3,743	5,190	4,186	< 事業費が増額となった理由 > 特別養護老人ホーム「上井草園」の空調及び照明設備改修工事に係る、工事費が増額となっているためです。 < 執行残の理由 > 特別養護老人ホーム「上井草園」の空調及び照明設備改修工事において繰越明許が生じたためです。 < 債務負担設定額 (総額) と設定期間 > 債務負担設定額 : 342,148千円 設定期間 : 2年
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	57,809	61,275	62,029	168,430	60,449	246,535		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引 : 一般財源 (8-12)	13 千円	57,809	61,275	62,029	168,430	60,449	246,535		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 209

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	施設の借り上げ		2	件
	建物修繕	4	所	2,210
	その他 ()			
取組成果	区内10か所のふれあいの家及び特別養護老人ホーム「上井草園」の円滑かつ効率的な施設運営のため、施設の借り上げや修繕を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	ふれあいの家5施設及び特別養護老人ホーム「上井草園」において、老朽化に伴う設備の更新等、必要な修繕を実施しました。修繕費用について、令和6年8月末現在の予算執行状況は52.8%です。年度末までに必要な修繕についても適切に対応していきます。 また、特別養護老人ホーム「上井草園」については、令和5年11月に着工した空調設備及び照明設備の大規模改修工事が令和6年7月に完了しました。これにより、光熱費の削減が期待されます。
事業の方向性・改善策	他の通所介護事業者との公平性の確保の観点から、令和6年4月以降は全てのふれあいの家において杉並区普通財産貸付基準による算定式での賃料改定を行い、賃料の適正化を図りました。 ふれあいの家の多くは、特別養護老人ホーム「上井草園」とともに建設から25年以上経過しており、施設の老朽化が進行しているため、今後も必要に応じて修繕を実施し、事業者の運営を支援していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	ふれあいの家については、通年を通して運営事業者より施設の老朽化等に伴う修繕の相談が寄せられていることから、施設全体の状況を踏まえ優先度を考慮しつつ、引き続き適切に対応をしていきます。 修繕や借り上げに係る既存の予算は前年度と同様である一方、特別養護老人ホーム「上井草園」について、令和5年11月に着工した空調設備及び照明設備の大規模改修が令和6年7月に完了したことに伴い、事業全体の予算は減額となる見込みです。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00225)

事務事業名称	高齢者活動支援センターの維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	012	整理番号	211
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設担当係		連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	216			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和58年度												
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	高齢者活動支援センター、高齢者ゲートボール場	根拠法令等	(1) 老人福祉法第4条、第5条の3、第15条、第20条の7 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役の地域拠点として社会参加の拡充を図る。また、高齢者の自主的団体活動を支援し、新たないきがづくりや仲間づくりを促進し、元気高齢者の増加に寄与する。スポーツ活動 (ゲートボール) を通して高齢者の社会参加の機会を提供し、元気高齢者の増加を図る。	活動指標	高齢者活動支援センター登録団体数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○60歳以上の区民の福祉の増進を図るため、各種相談や健康増進、介護予防、教養の向上、レクリエーションに関するもののほか、生きがい活動の支援や多世代との交流を実施するために設置された高齢者活動支援センターの維持管理を指定管理者により行う。高齢者ゲートボール場を管理・運営する。	指標説明	団体利用回数
		成果指標	高齢者活動支援センター利用率
		指標説明	講座室等利用回数 ÷ 利用可能枠数【行政】
		指標説明	ゲートボール場利用率
		指標説明	利用回数 ÷ 利用可能枠数【行政】

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 団体	57	80	72	80	72	80	90.0	99.7
活動指標 (2)	2 回	2,234	2,500	2,530	2,600	2,445	2,600	94.0	
成果指標 (1)	3 %	53.8	70.0	61.0	70.0	58.7	70.0	83.9	
成果指標 (2)	4 %	41.7	50.0	42.7	50.0	43.4	50.0	86.8	
事業費	5 千円	65,963	71,263	70,874	68,718	68,478	70,369	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	3,421	1,984	1,992	1,992	2,100	4,560	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	69,384	73,247	72,866	70,710	70,578	74,929		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	69,384	73,247	72,866	70,710	70,578	74,929	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 211

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	運営管理 (指定管理者)			68,127
	機械警備等建物管理委託			33
	電位治療器の賃借			18
	ゲートボール場清掃等委託			258
	その他 (光熱水費、消耗品購入費など)			42
取組成果	<p>高齢者活動支援センターについて、利用者が安全に利用ができるよう、指定管理者と連携を図りながら保守管理を行いました。また、コロナ禍により使用を中止していた「趣味の部屋」は、指定管理者において備品の修理などを実施した上で、8月から再開しました。</p> <p>高齢者ゲートボール場は、利用者が安全に利用できるよう施設の維持管理を行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>高齢者活動支援センターの多目的室、講座室の利用については、多目的室の日中の利用率は90%を超えているものの、講座室の利用率は50%台にとどまっており、引き続き、指定管理者と連携して利用促進に努めていきます。</p> <p>高齢者ゲートボール場の登録団体数については、令和2年3月31日時点では14団体の登録がありましたが、登録団体メンバーの高齢化が進み、団体活動維持が難しいことなどから、令和6年3月31日時点では6団体となっています。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>高齢者活動支援センターの令和6年7月末までの講座室・多目的室の利用率は90%近くになっている月もあり、団体活動が回復傾向にあります。指定管理者による講座の充実を図るとともに、区は、指定管理者と連携して適切な維持管理に努めています。</p> <p>高齢者ゲートボール場は、利用率が50%を超える月もありますが、7月末までの平均利用率は38.6%となっています。</p> <p>予算執行状況については、概ね計画どおりに進捗する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>高齢者活動支援センターは、利用者及び利用団体から要望等が寄せられていますが、指定管理者と連携をしてより良い施設運営を行い、いきがいや仲間づくり及び元気高齢者の活動の増加につなげていきます。</p> <p>高齢者ゲートボール場は、令和6年度に新規登録団体が1団体増えており、引き続き適切な施設管理に努めていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	令和7年度も施設の維持管理を現状維持で行います。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00226)

事務事業名称	ゆうゆう館等の維持管理			款	04	項	01	目	06	事業	013	整理番号	212
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設担当係		連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	217			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和38年度												
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	ゆうゆう館 (28館)	根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	元気な高齢者の声が響き渡る地域社会が形成できるよう、生涯現役社会の地域拠点として、ゆうゆう館が高齢者のみならず地域住民の「いきがい学び」「ふれあい交流」「健康づくり」「憩い」の場として幅広く活用されるようにする。	活動指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	利用者がゆうゆう館28館を安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1								85.3
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3								
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	62,051	102,093	90,632	85,842	73,254	79,156		特記事項
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	13,849	15,333	12,373	11,307	11,445	13,956	○令和5年度の事業費は、令和4年度に実施したゆうゆう上荻窪館の杉並会館内への移転に要する経費分 (改修工事等) が減少しています。 ○令和5年度の事業費については、電気料金等の高騰を踏まえて増額をしましたが、国が実施した「電気・ガス価格激変緩和対象事業」により電気料金等の高騰が一定程度抑制されたことから、支出額の執行残が大きくなりました。
	上記以外の職員	7 千円	735	735	736	736	761	761	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	76,635	118,161	103,741	97,885	85,460	93,873		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	76,635	118,161	103,741	97,885	85,460	93,873		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 212

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	光熱水費の支出		28	館
施設保守管理委託		28	館	19,307
消耗品購入、修繕、家屋等修繕		28	館	7,739
管理運営 (指定管理者)		1	館	3,798
	その他 (電話料金、物品・機器リース、物品保守委託、負担金の支出ほか)			14,230
取組成果	<p>ゆうゆう館の利用者が安全かつ快適に利用できるよう、施設保守管理委託などを行うとともに、老朽化した設備の改修や物品の買い替えを行いました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>清掃や設備点検を行うほか、故障したエアコンの修理や、故障した物品の買い替え等、利用者が安全で快適に過ごせるように適時対応しています。予算執行状況も例年どおり推移する見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>築40年以上の施設が半数以上を占め、建物や設備の老朽化が進んでいます。そのため、利用者が安全・快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>築40年以上の施設が半数以上を占め、建物や設備の老朽化が進んでいますが、令和7年度においてもその修繕や保守点検を的確に行い、施設の維持管理を行います。 また、令和6年9月に、ゆうゆう天沼館を閉館し、コミュニティふらっと本天沼へ機能継承するため、令和7年度の維持管理費は令和6年度に比べて削減を見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00228)

事務事業名称	特別養護老人ホーム等の建設助成			款	04	項	01	目	07	事業	001	整理番号	215	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係	連絡先電話番号	1724			昨年度整理番号	220					
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和60年度													
令和 5年度担当課名	高齢者施策課							事業評価区分	一般					

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を建設・運営する社会福祉法人	根拠法令等	(1) 社会福祉法第58条 (2) 社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例及び同施行規則
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護が必要な高齢者が、必要に応じて特別養護老人ホームに入所し、適切な介護が受けられるようにする。要介護者の施設入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	補助金交付件数 建設助成 (償還助成) 事業所数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	特別養護老人ホーム等の高齢者入所施設を区内に建設する社会福祉法人に対して建設費の助成及び独立行政法人福祉医療機構借入金の償還助成を行う。特別養護老人ホームを建設・運営する社会福祉法人に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	特別養護老人ホーム確保定員 杉並区民が優先的に入所可能な定員数【行政】 区内特別養護老人ホーム整備率 区内特別養護老人ホーム定員数を高齢者人口で除した割合【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	12	9	9	9	9	8	100.0	100.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	2,400	2,400	2,400	2,400	2,406	2,406	100.3	
成果指標 (2)	4 %	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	1.99	100.0	
事業費	5 千円	390,238	102,098	102,098	104,698	104,698	99,298	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	14,183	13,349	13,309	15,550	10,830	4,186	< 活動指標の変更 > 当該事業の活動量を適切に表すため、活動指標 (1) を「補助金交付件数」に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	919	919	1,655	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	405,340	116,366	117,062	120,248	115,528	103,484		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	70,000	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	70,000	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	335,340	116,366	117,062	120,248	115,528	103,484	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 215

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	特別養護老人ホームの建設助成 (償還助成)		9	所
	その他 ()			
取組成果	特別養護老人ホーム (9所) の運営事業者が独立行政法人福祉医療機構から借り入れた建設費に対して償還助成を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	特別養護老人ホームは、令和3年12月に特別養護老人ホーム「フェニックス杉並」を開設したことにより、区外協力施設も含めて2,400の定員数を確保しました。令和5年度は、入所希望者数が1,012人 (このうち取り下げ数355人) に対し、入所者数750人、区内特別養護老人ホームの入所率は94.1% (令和5年度末) であり、本年3月に行った令和6年度以降の特別養護老人ホームの需給予測では、令和12年度まで緊急性の高い入所待機者は発生しない状況となっています。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	区内8か所の特別養護老人ホームの運営事業者に対して償還金の助成を行い、予算については計画通り執行する予定です。
事業の方向性・改善策	特別養護老人ホームの整備については、本年3月に行った令和6年度以降の需給予測において、令和12年度まで緊急性の高い入所待機者は発生しない状況となっているため、現時点で新規整備の計画化はしないものの、引き続き各年度末時点での最新データ等を基にした定期的な需給予測を行っていきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	引き続き、区内の特別養護老人ホーム運営事業者に対して、償還金の助成を行います。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00229)

事務事業名称	認知症高齢者グループホームの建設助成				款	04	項	01	目	07	事業	002	整理番号	216
現担当課名	高齢者施策課		係名	施設整備推進担当係			連絡先電話番号	1724		昨年度整理番号	221			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	05	主要事業（区政経営報告書掲載事業）					
令和 5年度担当課名	高齢者施策課								事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	認知症高齢者グループホームを建設・運営する民間企業、社会福祉法人及び土地所有者等	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法第8条20項 東京都認知症高齢者グループホーム整備費補助要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	比較的安定状態にある認知症高齢者が、必要に応じて施設に入所し、家庭的な環境のもとで介護や日常生活の世話及び機能訓練などが受けられるようにする。施設への入所により、家族の介護負担が軽減されるようにする。	活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	補助金交付件数 建設助成や地域介護・福祉空間交付金等の補助金を交付した事業所数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	民間企業、社会福祉法人及び土地所有者等が整備する認知症高齢者グループホームに対し整備費の一部を補助する。認知症高齢者グループホームを建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明	認知症高齢者グループホーム整備率 認知症高齢者グループホーム定員数を高齢者人口で除した割合【行政】 認知症高齢者グループホーム整備定員数（累計）

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)
活動指標(1)	1 所	0	1	0	1	1	1	100.0	96.3
活動指標(2)	2								
成果指標(1)	3 %	0.54	0.55	0.54	0.56	0.56	0.60	100.0	
成果指標(2)	4 人	651	669	651	669	678	732	101.3	
事業費	5 千円	0	480	0	8,210	7,910	470	特記事項	
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	5,840	5,840	5,823	7,068	9,652	4,186	<活動指標の変更> 当該事業の活動量を適切に表すため、活動指標(1)を「補助金交付件数」に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	919	919	920	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	6,759	7,239	6,743	15,278	17,562	4,656		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	6,759	7,239	6,743	15,278	17,562	4,656	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 216

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の間接補助	1	所	7,729
	杉並区介護基盤施設整備運営事業者選定委員会の開催	3	回	181
	その他 ()			
取組成果	<p>認知症高齢者グループホームの新規整備に係る公募を実施し、選定委員会を設置の上、令和7年度に開設を予定する施設に係る運営事業者等の選定を行いました。</p> <p>また、国の補助金（地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金）を活用して、1事業者に対し、施設改修に係る経費の一部を助成しました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>認知症高齢者グループホームは、令和5年度末時点において、区内で37施設、678人の定員数を整備しており、高齢者人口に占める施設の定員数（整備率）は0.56%となっています。高齢者施設については、近年、認知症高齢者グループホームのほか、有料老人ホームや軽費老人ホームなど、施設系サービスが拡大してきており、今後の施設整備に当たっては、高齢者人口の推移、区民ニーズや近隣自治体の動向などを複合的に勘案し、必要数を検討していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込含む）	<p>令和7年度に開設予定の認知症高齢者グループホームの整備に係る、東京都の整備促進事業補助金及び区補助金の支出のため、今後、補正予算に計上して執行する予定です。</p> <p>また、今後の認知症高齢者グループホームの整備に向けた基礎資料とするため、令和6年度中に区内施設の入所・待機者の状況や、人口統計推移等に基づく需要予測、都内自治体の整備・入所の状況等を調査し、集計・分析を行います。</p> <p>予算の執行状況について、令和6年度は施設整備に係る公募を実施しないため、選定委員会等に係る予算は執行残となる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和6年度現在、区内37か所の認知症高齢者グループホームの入所率は9割を超える高い水準で維持しています。今後の整備計画については、令和6年度にまとめる基礎資料等を基に、適時適切に検討していきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	縮小
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>令和7年度は、認知症高齢者グループホーム1か所の開設を予定しており、これに伴う開設準備補助金の支出を予定しています。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00230)

事務事業名称	介護老人保健施設の建設助成			款 04 項 01 目 07 事業 003	整理番号	217	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係	連絡先電話番号	1724	昨年度整理番号	222
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援			予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成14年度						
令和 5年度担当課名	高齢者施策課			事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	介護老人保健施設を区内に建設する医療法人等	根拠法令等 (1) 介護保険法第8条第25項 (2) 杉並区介護老人保健施設整備費補助要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	リハビリテーション、看護、介護等の医療的ケアと日常生活上のサービスを併せて提供することにより、高齢者の自立を支援し、家庭復帰と在宅ケアを目指すことができるようにする。	活動指標 指標名 (1) 補助金交付件数 指標説明 建設助成等の補助金を交付した事業所数 指標名 (2) 指標説明
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	介護老人保健施設等を区内に建設する医療法人等に対して、建設費の助成及び独立行政法人福祉医療機構からの借入金の償還助成を行う。	成果指標 指標名 (1) 介護老人保健施設整備率 指標説明 介護老人保健施設定員数を高齢者人口で除した割合【行政】 指標名 (2) 区内老人保健施設整備床数 (累計) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	0	0	0	0	0	0	0.0	100.0
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.34	0.36	0.34	0.36	0.34	0.36	94.4	
成果指標 (2)	4 床	418	418	418	418	418	418	100.0	
事業費	5 千円	17,996	18,652	16,258	9,500	9,500	9,500	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	834	834	832	1,330	1,349	837	<活動指標の変更> 当該事業の活動量を適切に表すため、活動指標 (1) を「補助金交付件数」に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	368	368	368	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	19,198	19,854	17,458	10,830	10,849	10,337		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	19,198	19,854	17,458	10,830	10,849	10,337	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 217

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	介護老人保健施設建設等助成		1	所
	その他 ()			
取組成果	介護老人保健施設「老健くぬぎ」の運営事業者が独立行政法人福祉医療機構から借り入れた建設費に対し、区民利用率に応じて償還助成を行いました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	介護老人保健施設については、令和5年度末時点で区内に4施設、定員が418人となっており、高齢者人口に占める施設定員数（整備率）が0.34%と、杉並区を含む23区は全国と比較し整備が進んでいない状況にあります。この間施設の整備が進まない要因として、施設整備に当たっては医療機関等の動向に左右されること、地価が高価であること、施設の整備に適した土地の確保が困難であることや建築価格の高騰などが挙げられます。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込含む）	介護老人保健施設1施設（老健くぬぎ）の運営事業者が独立行政法人福祉医療機構から借り入れた建設費に対して償還助成を行いました。 なお、現時点では、区内医療法人等から新たな施設整備に向けた動きはありません。
事業の方向性・改善策	区内の介護老人保健施設は、現在区内に4施設、定員418人となっており、利用状況は8割程度で推移しています。今後とも介護老人保健施設の利用状況や区内医療法人等の意向を踏まえながら、新たな施設整備について検討していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	引き続き、区内の介護老人保健施設の運営事業者に対して、建設費用の助成を行います。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00234)

事務事業名称	都市型軽費老人ホームの建設助成				款 04 項 01 目 07 事業 024	整理番号	220	
現担当課名	高齢者施策課	係名	施設整備推進担当係		連絡先電話番号	1724	昨年度整理番号	225
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援				予算事業区分	既定事業		
事業開始	平成22年度	実行計画事業	目標 05	施策 15	計画事業	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
令和 5年度担当課名	高齢者施策課				事業評価区分	一般		

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	都市型軽費老人ホームを建設・運営する社会福祉法人、民間企業及び土地所有者等	根拠法令等 (1) (2)	社会福祉法第2条第2項第3号、老人福祉法第15条第5項 杉並区都市型軽費老人ホーム整備費補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があり、家族による援助を受けることが困難な高齢者が、必要に応じて施設に入所でき、低額な利用料で日常生活における支援を受けながら生活できるようにする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	補助金交付件数 建設助成、開設準備等の補助金を交付した事業所数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	社会福祉法人、民間企業及び土地所有者等が整備する都市型軽費老人ホームに対し、整備費の一部を補助する。都市型軽費老人ホームを建設・運営する民間事業者等に対し、円滑な施設の開設を支援するために、開設準備に要する経費の一部助成を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	都市型軽費老人ホーム整備率 都市型軽費老人ホーム定員数を一人暮らし高齢者人口で除した割合【行政】 都市型軽費老人ホーム整備定員数 (累計)

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 所	0	0	0	0	0	0	0.0	
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 %	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	100.0	
成果指標 (2)	4 人	60	60	60	60	60	60	100.0	
事業費	5 千円	0	188	4	188	0	196	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	1,669	1,669	1,664	2,162	2,186	4,186	< 活動指標の変更 > 当該事業の活動量を適切に表すため、活動指標 (1) を「補助金交付件数」に変更しました。
	上記以外の職員	7 千円	368	368	368	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	2,037	2,225	2,036	2,350	2,186	4,382		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	2,037	2,225	2,036	2,350	2,186	4,382	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 220

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	公募の実施			
	その他 ()			
取組成果	都市型軽費老人ホームの新規整備に係る公募を実施しましたが、令和5年度は施設整備に係る申請はありませんでした。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	都市型軽費老人ホームは、区内で3施設、60人の定員数を整備していますが、高齢者人口に占める施設の定員数 (整備率) は約0.05%に留まっています。施設は概ね満床状態を継続していますが、今後の施設整備に当たっては、高齢者人口の推移、区民ニーズや近隣自治体の動向などを複合的に考慮し、必要数を検討していく必要があります。
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年度は、今後の施設整備に向けた基礎資料とするため、区内施設の入所・待機者の状況や、人口統計推移等に基づく需要予測、都内自治体の整備・入所の状況等を調査し、集計・分析を行います。 予算の執行状況については、選定委員会等に係る経費が執行残となる見込みです。
事業の方向性・改善策	区内3カ所にある都市型軽費老人ホームは概ね満員の状態で推移しています。今後の整備計画については、令和6年度にまとめる基礎資料等を基に、適時適切に検討していきます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	都市型軽費老人ホームは、令和6年度に策定予定の施設の整備方針を踏まえ、計画的な整備を進めます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00599)

事務事業名称	介護保険制度の趣旨普及			款	01	項	03	目	01	事業	001	整理番号	577
現担当課名	介護保険課		係名	管理係			連絡先電話番号	1313		昨年度整理番号	581		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度												
令和 5年度担当課名	介護保険課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	介護保険被保険者とその家族等 介護保険事業者とその従事者	根拠法令等 (1) (2)	介護保険法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	介護保険制度への理解を高め、介護を必要とする被保険者の介護保険サービスの適切な利用を促進する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	パンフレット等作成数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	介護保険制度の概要や制度改正に関することや認定申請からサービス利用までの流れ等について、利用者ガイドブック、介護保険だより、広報すぎなみ、区公式ホームページ等により周知を行う。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	要介護等認定者数 要介護認定者数 + 要支援認定者数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度 対計画比 (%)	令和 5年度 予算執行率 (%)
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画		
活動指標 (1)	1 部	21,000	56,000	21,500	122,700	115,900	56,500	94.5	86.1
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 人	25,719	26,804	25,571	27,244	26,058	25,569	95.6	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	9,617	11,455	9,484	21,832	18,805	12,908	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	14,600	14,600	14,557	14,557	15,821	14,649	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	24,217	26,055	24,041	36,389	34,626	27,557		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	24,217	26,055	24,041	36,389	34,626	27,557	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 577

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	窓口配布用パンフレット (介護保険利用者ガイドブック) の作成	14,400	部	2,060
	介護保険だよりの作成	146,000	部	1,588
	制度改正内容案内パンフレット (よくわかる介護保険) の作成	95,000	部	1,568
	在宅医療・介護保険サービス事業者等情報検索システム運営委託			4,752
	その他 (ミニパンフレット (65歳到達者通知用) 外の作成)			8,837
取組成果	介護保険利用者ガイドブックの作成・配布、65歳に到達された方への被保険者証の送付と併せてミニパンフレットを同封するなどして、制度の趣旨普及に努めました。また、令和5年度は「第9期介護保険事業計画」の策定による改正内容について、全被保険者世帯向けに「よくわかる介護保険」を発行し、周知を図りました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	介護保険制度は創設から23年が経過し、サービス利用者は制度創設時の7,640人 (平成13年3月) から23,207人 (令和6年3月) と約3倍に増加しており、介護が必要な高齢者の生活の支えとして定着しています。 参考：高齢者人口 65歳～74歳...49,225人 (平成13年3月末) 51,553人 (令和6年4月1日) 75歳以上 ...38,196人 (平成13年3月末) 68,932人 (令和6年4月1日) こうした中で、区民や利用者、サービス事業者等から区に対し、要介護 (要支援) 認定申請の方法や保険料に関する事など介護保険制度に係る、様々な問い合わせや要望が寄せられています。
課題・分析 (2 / 2)	今後も、介護保険被保険者数の更なる増加が見込まれる中で、円滑かつ適切な介護サービスの利用促進を図るため、引き続き、趣旨普及に取り組む必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和5年度が第9期計画策定年で予算額が大きかったため、令和6年度8月末現在の執行状況は前年度比179%ですが、同時期の執行額で比較する前年度比は106%となります。執行内容は、窓口配布用パンフレット (介護保険利用者ガイドブック) の作成、介護保険だよりの発行 (年2回発行) の1回目の作成等です。
事業の方向性・改善策	今後も、被保険者や事業者にとって大きな影響のある法改正を含め、制度に関する情報を周知する必要があるため、わかりやすく的確な情報提供に努めます。

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	予算は現状維持としつつ、よりわかりやすい内容となるよう必要な見直しを行い、引き続き、介護保険サービスを必要とする区民が適切なサービスを受けられるように普及啓発に努めます。	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00607)

事務事業名称	介護予防・生活支援サービス事業			款	04	項	01	目	01	事業	001	整理番号	586	
現担当課名	介護保険課	係名	事業計画担当	連絡先電話番号				1828	昨年度整理番号	589				
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成18年度													
令和 5年度担当課名	介護保険課			事業評価区分	一般									

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	要支援認定者等（要支援認定者、及び介護予防・生活支援サービス事業の事業対象者）	根拠法令等 (1) 介護保険法 (2) 地域支援事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	要支援認定者等の生活支援ニーズに対し、地域の実情に応じた多様なサービスを提供し介護予防・自立支援を目指すことにより、要支援認定者が地域において自立した日常生活を営むことができるようにする。	活動指標 指標名（1） 介護予防事業（訪問型・通所型）及び自立支援事業（訪問型・通所型）利用件数 指標説明 指標名（2） 短期集中プログラム（訪問型・通所型）実施回数
事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）	介護予防事業（訪問型・通所型）及び自立支援事業（訪問型・通所型）を、指定事業者により提供する。 短期集中プログラム（訪問型、通所型（生活行為向上・運動器機能向上））を事業者等に委託して実施する。 利用者の負担軽減のために、高額介護予防サービス費に相当する事業を行う。	成果指標 指標名（1） 短期集中プログラム利用後の維持改善者の割合 指標説明 （短期集中プログラム参加者数 - 悪化・死亡数）÷ 短期集中プログラム参加者数【区民】 指標名（2） 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	38,418	49,248	37,937	49,884	38,185	40,188	76.5	79.6	
活動指標 (2)	2 回	717	751	913	930	1,072	1,055	115.3		
成果指標 (1)	3 %	93.0	95	88.1	90	92.4	90	102.7		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	817,145	1,036,202	823,102	1,052,439	837,239	908,714	特記事項		
人件費	常勤職員分（再任用含）	6 千円	23,239	23,022	15,437	15,470	15,580	16,584	事業費及び事業件数の計画値については、令和2年度に第8期介護保険事業計画（令和3～5年度）で推計したものであり、令和5年度は計画値に対し実績値が大幅に減となったため、執行率は79.6%になりました。	
	上記以外の職員	7 千円	2,205	2,021	2,207	2,023	1,523	1,523		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	842,589	1,061,245	840,746	1,069,932	854,342	926,821			
財源	受益者負担分	9 千円	656	817	858	877	1,014	969		
	国・都からの補助金	10 千円	437,980	488,954	417,208	448,859	404,645	375,089		
	その他の補助金等	11 千円	339,003	435,436	349,492	406,811	359,124	350,312		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	777,639	925,207	767,558	856,547	764,783	726,370		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	64,950	136,038	73,188	213,385	89,559	200,451		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 586

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	介護予防事業の実施 (訪問型)	12,717	件	212,293
	介護予防事業の実施 (通所型)	24,334	件	560,550
	自立支援事業の実施 (訪問型・通所型)	1,134	件	15,643
	短期集中予防サービスの実施 (訪問型・通所型プログラム)	1,072	回	44,856
	その他 (高額介護サービス費相当事業ほか)			3,897
取組成果	介護予防事業 (訪問型) は、19,776件の計画に対し7,059件減の12,717件、介護予防事業 (通所型) は、28,404件の計画に対し4,070件減の24,334件になりました。 短期集中予防サービスは、930回の計画に対し1,072回と計画を上回る実施ができました。			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>介護予防訪問事業及び介護予防通所事業は、計画値に対し実績値の件数が大幅に減となりましたが、令和4年度の事業費実績値と比較すると、介護予防訪問事業は6.43%減、介護予防通所事業は、4.88%増となっています。第9期介護保険事業計画 (令和6～8年度) では、実績値等を基に新たに計画値を算定しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>短期集中予防サービスは、計画値から15.3%増となりました。特に訪問型プログラムは、令和4年度の626回から784回に増加しました。令和6年度は実績値をもとに実施回数を算定しました。 今後も、身体機能の改善にとどまらず、サービス終了後も利用者自身で介護予防に取組めるよう、行動変容を促す働きかけを行っていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>介護予防事業 (4～7月) の予算執行率は31.97%となっています。前年度の (4～7月) と比較すると自立支援事業 (訪問型・通所型) の件数は減となりましたが、介護予防事業 (訪問型) は50件増加の4,355件、 (通所型) は621件増加の8,627件となっており、8月以降も介護予防事業については件数増が見込まれます。 短期集中予防サービス (4～7月) の予算執行率は44.9%となっています。訪問型は前年度 (4～7月) と比較すると202回増加し予算執行率は59.1%となっています。訪問型については8月以降も同程度の実施回数増が見込まれます。通所型 (4～7月) は予算執行率、実施回数ともに昨年度と同程度です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後も、介護予防事業、自立支援事業及び短期集中予防サービスの実績状況を把握した上で、毎年度の予算に反映させます。 短期集中予防サービスの訪問型については、利用者の増加に応じて必要な予算を増額し、遅滞なくサービスの提供ができるよう取組んでいきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>介護予防事業 (訪問型) と自立支援事業 (訪問型・通所型) については、令和6年度と同程度の予算を見込んでいます。介護予防事業 (通所型) については、第8期事業計画期間の実績値の伸び率が高いことから、第9期事業計画期間 (6～8年度) については増額を見込んでいます。 短期集中予防サービスは、コロナ禍の影響によりフレイル状態となった高齢者の増加と、事業の有効性がケア24等関係機関に周知されてきたことにより、訪問型については年度末には計画値の177%に達する見込みです。訪問型については来年度以降も増加が想定されるため、令和7年度は令和6年度の2倍程度の予算が必要と見込んでいます。通所型については今年度と同程度で対応可能と見込んでいます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00731)

事務事業名称	介護予防ケアマネジメント事業			款	04	項	01	目	01	事業	002	整理番号	587		
現担当課名	介護保険課	係名	事業計画担当	連絡先電話番号	1828			昨年度整理番号	590						
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業						
事業開始	平成28年度														
令和 5年度担当課名	介護保険課			事業評価区分							一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	要支援認定者及び、介護予防・生活支援サービス事業の事業対象者 地域包括支援センター職員、地域リハビリ専門職、事業委託業者	根拠法令等 (1) 介護保険法 (2) 杉並区介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	日常生活での目標を明確にし適切なサービス利用計画を作成することで、高齢者が要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域で安心して生活できるようにする。多職種が参加する介護予防ケアマネジメント支援会議の実施により、介護予防ケアマネジメントの質や説明能力の向上を図り、自立支援の考え方を共有する。	活動指標 指標名 (1) 介護予防ケアマネジメントプラン作成費支払実績 指標説明 指標名 (2) 介護予防ケアマネジメント支援会議検討ケース数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	総合事業の介護予防ケアマネジメントプラン作成を地域包括支援センターに委託して行う。地域包括支援センターの総合相談等により把握された事業対象者等の、短期集中予防サービス利用にかかる計画方針を、多職種が参加する介護予防ケアマネジメント支援会議において検討し最終確認する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 介護予防ケアマネジメント支援会議検討ケースの目標達成率 指標説明 全評価件数に対する目標達成件数の割合【区民】 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 件	20,138	25,020	20,177	25,440	20,490	21,620	80.5	81.7
活動指標 (2)	2 件	165	180	218	200	202	200	101.0	
成果指標 (1)	3 %	86.0	90	80.2	90	77.5	90	86.1	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	103,942	127,770	103,768	129,429	105,688	113,891	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	7,423	7,006	6,987	6,987	8,125	6,451	事業費及び事業件数の計画値については、令和2年度に第8期介護保険事業計画 (令和3~5年度) で推計したものであり、3年目である令和5年度は計画値に対し実績値が減となったため、執行率は81.7%になりました。
	上記以外の職員	7 千円	1,286	1,286	1,287	1,287	1,142	1,142	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	112,651	136,062	112,042	137,703	114,955	121,484		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	39,541	47,172	39,188	47,786	39,754	40,431	
	その他の補助金等	11 千円	43,131	53,734	44,065	55,183	45,611	48,311	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	82,672	100,906	83,253	102,969	85,365	88,742	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	29,979	35,156	28,789	34,734	29,590	32,742	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 587

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	介護予防ケアマネジメントプラン作成	20,490	件	105,393
	介護予防ケアマネジメント支援会議の開催	33	回	177
	その他 (事業対象者申請事務処理委託)			118
取組成果	<p>介護予防ケアマネジメントプラン作成件数は、25,440件の計画に対し、4,950件減の20,490件になりました。</p> <p>介護予防ケアマネジメント支援会議は、祝日による日程調整等により年間33回の開催でしたが、対象者全員の検討は実施することができました。また、検討ケース数は、計画を上回る202件となりました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>介護予防ケアマネジメント事業費は、計画値に対し実績値の大幅な減となりましたが、令和4年度の事業費 (実績値) と比較すると1.87%増となっています。第9期介護保険事業計画 (令和6~8年度) では、この間の実績値等を基に計画値を精査しました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>令和5年度の介護予防ケアマネジメント支援会議における検討ケースの目標達成率は77.5%で計画値に届きませんでした。対象者の身体状況の多様化により改善予測が困難となってきている一方で、アセスメント力不足から不適切な目標設定もあるため、引き続き、介護予防ケアマネジメント支援会議を通し、ケアマネジメント力の向上を支援していくとともに、短期集中予防サービスのプログラムの充実も図り、高齢者の自己実現に向けた支援を行っていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>介護予防ケアマネジメントプラン作成は、介護予防事業 (訪問型・通所型) の利用者の増により、前年度 (4~7月) の件数に対し2.54%増となりましたが、実績値は、1.54%の減となっています。</p> <p>介護予防ケアマネジメント支援会議は、実施回数、予算執行とも計画通り進行しています。検討ケース数は短期集中予防サービスの申込者の増加に伴い、前年同時期と比較して113%に増加しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後も、ケアマネジメントプラン作成の実施件数を把握した上で、毎年度の予算に反映させます。</p> <p>介護予防ケアマネジメント支援会議は、ケアプランの質の向上を図るため、引き続き多職種によるプラン検討と会議内研修を実施します。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>介護予防ケアマネジメントプランは、第9期介護保険事業計画期間の介護予防・生活支援サービス事業の利用者増及び令和6年度の介護報酬改定により増額を見込んでいます。</p> <p>介護予防ケアマネジメント支援会議は、ケアプランの質の維持向上を図るため、令和6年度と同程度の予算が必要です。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00701)

事務事業名称	認知症総合支援			款	04	項	02	目	06	事業	001	整理番号	594
現担当課名	高齢者在宅支援課		係名	地域包括ケア推進係			連絡先電話番号	3276		昨年度整理番号	597		
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成19年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	認知症の人または認知症の疑われる人及びその家族等 一般区民	根拠法令等 (1) 介護保険法 (2) 地域支援事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	認知症の早期の段階で、速やかに適切な医療・介護等が受けられる支援体制を構築することで、認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる。認知症に関する正しい理解の普及啓発等を通じて、認知症の人に対する地域単位での支援体制を推進する。	活動指標 指標名 (1) 認知症初期集中支援チーム会議数 指標説明 認知症初期集中支援チーム (区内3か所) で実施した会議数 指標名 (2)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	認知症初期集中支援チームによる認知症の初期段階の人への早期対応や初期支援を行う。 認知症サポート医と精神科医による物忘れ相談 (ものわすれ相談) を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 認知症初期集中支援チーム対応件数 指標説明 認知症初期集中支援チーム (区内3か所) が対応した合計件数【行政】 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	33	36	33	36	31	36	86.1	64.5
活動指標 (2)	2								
成果指標 (1)	3 件	29	60	36	60	51	60	85.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	6,237	9,890	5,547	9,809	6,328	9,672	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	16,853	15,435	16,802	16,636	16,742	16,742	事業費については、「関係者向けガイドブック」の内容を見直し、自前印刷を行ったこと、また、認知症初期集中支援チームの訪問数及びケア24物忘れ相談数が当初の見込みより低かったことなどから、執行残が生じました。 認知症初期集中支援チームは活用の周知により、令和4年度186件、令和5年度277件と訪問数が増加したため、事業費の増となりました。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	3,046	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	23,090	25,325	22,349	26,445	26,116	26,414		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	4,900	6,055	3,547	6,027	4,017	5,586	
	その他の補助金等	11 千円	1,336	2,157	1,276	2,197	1,492	2,145	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	6,236	8,212	4,823	8,224	5,509	7,731	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	16,854	17,113	17,526	18,221	20,607	18,683	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 594

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	認知症初期集中支援チームによる支援	3	所	4,736
	物忘れ相談 (地域包括支援センター)	73	件	795
	ものわすれ相談 (保健センター)	18	件	335
	その他 (認知症地域支援・ケア向上事業)			462
取組成果	<p>ケア24の認知症サポート医が認知症の本人とその家族に対して行う物忘れ相談は、令和4年度より2件増となる73件の実績でした。認知症初期集中支援チームによる対応件数は51件であり、目標値に近づいています。支援チームが集中的に訪問支援することで、信頼関係の構築や安否確認のほか、認知症の診断や介護サービスの導入などの支援を図ることができました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>認知症初期集中支援チームによる支援と、もの忘れ相談の内容については、単身高齢者で身寄りがない方、認知症が進行して訪問の約束が困難な方、金銭管理や近隣苦情など複合的な課題を抱えているケースの増加がみられるため、引き続き継続して実施する必要があります。</p> <p>認知症初期集中支援チームは今後も関係機関との連携を強化し、支援体制を構築していきます。また、不在時の周辺状況調査 (生活の様子の確認) を実施する等、訪問支援の手段を工夫して実施します。もの忘れ相談は引き続き周知に努め、活用を推進していきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年7月現在、認知症初期集中支援チーム対応件数は19件 (新規7件、継続12件)、予算執行率は12.6%ですが、単身者の金銭管理の支援や介入拒否などの対応困難事例が増加しています。訪問の日時が記憶できない人への、不在時の周辺状況調査の手法も活用することができています。1月には認知症初期集中支援チーム取組報告会をケア24と認知症初期集中支援チーム員を対象に実施し、事業の活用促進や困難事例への介入手法などの対応力向上を図ります。</p> <p>若年性認知症支援会議やもの忘れ相談 (保健センター) も計画的に実施しており、これらの予算執行率は計画値程度となる見込みです。</p>
事業の方向性・改善策	<p>認知症初期集中支援チームの利用数は、ケア24職員の対応能力の向上により変動があるため、中・長期的な見込みが必要です。今後も、高度複合化した課題を抱えた認知症の人を支援する必要性は高いため、引き続き事業の活用促進や対応力の向上を図るとともに、ケア24における物忘れ相談と保健センターのもの忘れ相談も継続して力を入れていきます。</p> <p>若年性認知症支援会議では、若年性認知症の人が抱える就労、経済、介護、本人や家族の病気の受容等の多岐にわたる課題について、関係機関との検討・支援・連携を強化し、本人の社会参加の促進を図ります。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>認知症単身高齢者や複合的な課題を抱えているケースの増加に対応していくため、認知症初期集中支援チームや物忘れ相談、若年性認知症支援会議については、内容の精査や改善を重ねていきます。事業規模は現状維持としながらも、認知症の早期の段階で、速やかに適切な医療・介護等が受けられる支援体制を構築していきます。</p>	

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

(00613)

事務事業名称	家族介護支援事業等			款	04	項	03	目	01	事業	001	整理番号	595
現担当課名	高齢者在宅支援課		係名	管理係		連絡先電話番号	3233		昨年度整理番号	598			
上位施策No・施策名	15 高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成18年度	実行計画事業	目標	05	施策	15	計画事業	03					
令和 5年度担当課名	高齢者在宅支援課							事業評価区分	一般				

令和 5年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	概ね65歳以上の高齢者で、介護が必要な方及びその家族等	根拠法令等 (1) 介護保険法 (2) 地域支援事業実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	高齢者を在宅で介護している家族の負担軽減を図るとともに、高齢者と介護に携わっている家族が安心して自分らしい暮らしを送ることができるよう、介護保険サービスに加え、区独自のサービスを提供する。認知症に関する正しい知識の普及啓発等を通じて、地域単位での支援体制を推進する。	活動指標 指標名 (1) 家族介護支援事業利用者数 指標説明 指標名 (2) 認知症サポーター養成講座開催件数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	要介護高齢者及び認知症高齢者の在宅支援と介護者の介護負担軽減のために、介護用品の支給、ほっと一息介護者ヘルプ事業、家族介護教室、認知症高齢者家族安らぎ支援事業、認知症家族会支援等を行う。介護給付内容の通知、家族介護慰労事業を行う。認知症サポーター養成講座を開催し、認知症を正しく理解し、地域の中で支え合う認知症サポーターを養成する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 家族介護支援サービス利用率 指標説明 指標名 (2) 認知症サポーター新規養成者数 指標説明 認知症サポーター養成講座を受講し、新たにサポーターとなった人数【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		令和 6年度	令和 5年度	令和 5年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 人	7,875	8,150	8,036	8,152	8,299	8,733	101.8	98.7	
活動指標 (2)	2 回	55	120	71	120	57	120	47.5		
成果指標 (1)	3 %	31.5	32.3	31.9	32.6	33.1	34.2	101.5		
成果指標 (2)	4 人	1,083	2,500	1,718	2,500	1,548	2,500	61.9		
事業費	5 千円	437,134	447,701	443,541	457,171	451,377	486,236	特記事項		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	61,835	59,941	60,762	34,915	37,683	45,269		
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	3,678	3,807	0		
総事業費 (5+6+7)	8 千円	498,969	507,642	504,303	495,764	492,867	531,505			
財源	受益者負担分	9 千円	23,027	22,806	23,393	24,019	23,305	25,475		
	国・都からの補助金	10 千円	69,864	71,247	73,716	70,350	72,920	21,240		
	その他の補助金等	11 千円	318,654	328,425	320,375	338,573	329,988	432,137		
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	411,545	422,478	417,484	432,942	426,213	478,852		
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	87,424	85,164	86,819	62,822	66,654	52,653		

令和 6年度杉並区事務事業評価シート

令和 5年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 595

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	介護用品の支給 (おむつ支給・おむつ代助成) 月平均利用者数	4,856	人	366,695
	認知症高齢者家族安らぎ支援事業利用者数	36	人	4,709
	ほっと一息、介護者ヘルプ事業年度未登録者数	2,037	人	69,296
	認知症サポーター養成数	1,548	人	269
	その他 (徘徊高齢者探索システム、家族介護教室ほか)			10,408
取組成果	<p>介護用品の支給事業では令和4年度実績4,809人に対し令和5年度実績は4,856人 (対前年度比101.0%)、認知症高齢者安らぎ支援事業では令和4年度実績31人に対し令和5年度実績は36人 (対前年度比116.1%)、ほっと一息介護者ヘルプ事業では令和4年度実績1,982人に対し令和5年度実績2,037人 (対前年度比102.8%) となり、区独自支援の取組を着実に進めることができました。</p>			

令和 5年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>高齢者を在宅等で介護している方の多様なニーズに対応し、支援を必要とする方へ適切に提供できるよう、関係機関への周知に努め、介護保険サービスが適用されない方等への家事援助「ほっと一息、介護者ヘルプ事業」や、認知症高齢者を在宅で介護する家族の話を傾聴する事業「認知症高齢者安らぎ支援事業」などの取組を推進しました。その結果、活動指標 (1) 家族介護支援事業利用者数は計画8,152人に対し実績8,299人 (対計画比101.8%)、成果指標 (1) 家族介護支援サービス利用率は計画32.6%に対し実績33.1% (対計画比0.5ポイント増) と目標を達成し、介護者の休息の確保と負担軽減に寄与することができました。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>認知症サポーターの養成については、令和5年度計画2,500人に対して実績1,548人 (対計画比61.9%) となりましたが、令和5年5月に新型コロナウイルスが5類へ移行したことから、区民や区内事業所、学校関係者などと対面で実施することができました。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>令和6年7月末実績については、介護用品支給事業利用者延べ19,712人 (計画値59,040人、予算執行率32.9%)、介護用品助成事業 (四半期払) 延べ202人 (計画値860人、予算執行率22.9%)、徘徊高齢者探索システム月平均利用者73名 (計画値80名、予算執行率31.3%)、認知症高齢者等安らぎ支援事業延べ236時間 (計画値655時間、予算執行率32.5%)、ほっと一息、介護者ヘルプ事業延べ5,580時間 (計画値24,000時間、予算執行率23.3%) となっています。</p> <p>認知症サポーター養成講座については、今年度から認知症基本法に基づき改訂された新テキストを使用し、7月末時点で講座開催数21回、受講者数422人 (計画値2,500人) の実績となっており、8月以降は17回の講座の開催を予定しています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>介護用品支給事業の延べ利用者は毎年1,000名超の増加で推移しており、今年度も同様の傾向が見込まれます。</p> <p>ほっと一息介護者ヘルプ事業や認知症安らぎ支援事業、徘徊高齢者探索システム事業については、過去5年間で大きな増減はありませんが、支援が必要な人に適切なサービスが行き届くよう、ケアマネジャー等に周知を図っていきます。</p> <p>また、認知症サポーター養成講座については、今後も認知症への理解者を増やしていくため、区民や教育機関、企業等幅広い対象に向けて講座を開催するとともに、認知症サポーター等がチームとなって活動するチームオレンジの充実につなげていきます。</p>

令和 7年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>介護用品支給事業については実行計画のとおり拡充するものの、その他の事業を含めた事業コストは概ね現状維持と見込んでいます。</p> <p>また、認知症サポーター養成講座については、実績から事業規模は現状維持とし、今後もあらゆる機会を活用して講座を開催していきます。</p>	